

Color Video Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-20
UP-21MD
UP-21MDS

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

58ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

はじめに

この取扱説明書について	11
本機の特長	11
各部の名称と働き	12
前面	12
裏面	13
モニター画面	14

準備

付属品を確認する	15
接続する	15
ビデオ機器を接続する	16
モニターを接続する	16
リモコンを接続する	17
プリントする前に	17
インクリボンを取り付ける	17
プリント紙を入れる	19
入力信号を選ぶ	21

操作

1 枚に 1 画面をプリントする	22
ユーザー登録した内容でプリントする	24
同じプリント画を連続してプリントする	25
プリント中に別の画像のプリントを予約する	27
いろいろなプリント画を作る	28
メモリーモードについて - メモリーモードを 選ぶ	28
メモリーページを選ぶ	30
分割画面を作る - マルチプリント	30
プリント画に日付けやコメントを入れる	35
文字を入力する	35
メモリーに記憶した画像を消す	38
CLEAR ボタンの機能を設定する	38
メモリーに記憶されている画像を消す	39
モニター画面の管面表示を消す	40

調整

メニュー画面上で設定できる項目	41
メニューの構成	42
メニューの基本操作	43
色調・画質を調整する	45
入力映像の色調を補正する	45
モニター画面とプリント画の色調を合わせる	46

プリント画の画質を調整する	47
プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する	49
カラーバランスを調整する	51
各種設定をする	54
別売りのリモコンでの操作を選ぶ	54
液晶ディスプレイの調整をする (UP-21MD/ 21MDS のみ)	55
操作音、アラーム音を設定する	55
本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ	55
インクリボンの種類および残量を表示させる	55
調整値をユーザー設定として登録する	56

その他

本機の性能を保持するために	58
使用上のご注意	58
お手入れ	58
本機で使用可能なインクリボンとプリント紙	59
主な仕様	60
保証書とアフターサービス	62
メッセージ一覧	63
エラーメッセージ	63
警告メッセージ	64
故障とお考えになる前に	65
プリント紙が詰まったら	66
索引	68



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口に交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取付けることができない場合は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

十分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

本体内部に手を入れない

ドアが開いている時に本体内部に手を入れると、やけどやけがの原因となることがあります。



注意

フロントパネルを開けたままにしておかない

フロントパネルを開けたままにしておくとおぶつかけたり、落下してけがの原因となることがあります。



注意

本体を支えて給紙トレーを着脱する

給紙トレーを着脱するときに、本体が動き落下してけがの原因となることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC60601-1、IEC60950-1、IEC60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC60601-1-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC60601-1-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。
(適合規格：IEC60601-1-2 と CISPR11、Class A、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- UP-20/21MD/21MDS は、EMC に関して特に注意する必要があります。取扱説明書で提供される EMC 情報に従って設置及び使用する必要があります。
- UP-20/21MD/21MDS は、携帯電話のような、携帯型及び移動型の無線通信機器に影響を受けます。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-20/21MD/21MDS のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針及び製造業者の宣言－電磁エミッション

UP-20/21MD/21MDS は、下記の電磁環境で使用することを前提としています。

UP-20/21MD/21MDS のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-20/21MD/21MDS は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	UP-20/21MD/21MDS は、家庭及び家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-20/21MD/21MDS を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ


UP-20/21MD/21MDS は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-20/21MD/21MDS のお客様または使用者は、下記の環境で使用することを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも30%以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント (高速過渡現象) / バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	<5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 <5% U_T (>95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-20/21MD/21MDS の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置又はバッテリーから UP-20/21MD/21MDS に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考: U_T は、試験レベルを加える前の機器の定格電源電圧である。

指針及び製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-20/21MD/21MDS は、下記の電磁環境での使用を意図しています。UP-20/21MD/21MDS のお客様または使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	<p>携帯型及び移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-20/21MD/21MDS のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$ $d = 1.2 \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = 2.3 \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.5 \text{ GHz}$ <p>P は、無線通信機器のメーカーが公表した最大出力定格（単位はワット（W））で、d は推奨距離（単位はメートル（m））です。</p> <p>電磁環境の現地調査によって得られる固定の無線送信機からの電磁界強度^aは、各周波数範囲^bにおいて適合レベル未満である必要があります。</p> <p>下記の記号が表示された機器の近くでは、妨害が生じる可能性があります。</p> 
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは、対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 無線（携帯 / コードレス）電話及び陸上移動無線のための基地局、アマチュア無線、AM 及び FM ラジオ放送並びに TV 放送のような固定の送信機からの電磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定の無線送信機による電磁環境を評価する為には、電磁波の現地調査の検討が必要です。UP-20/21MD/21MDS が使用される場所で測定された電磁界強度が、対応する無線の適合レベルを超える場合、UP-20/21MD/21MDS が、正常に動作していることを確認してください。

もし異常な動作が観測される場合、UP-20/21MD/21MDS の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となる場合があります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型及び移動型の無線通信機器と、UP-20/21MD/21MDS との間の推奨分離距離

UP-20/21MD/21MDS は、無線妨害放射が制御されている電磁環境内で使用することを前提としています。UP-20/21MD/21MDS のお客様または使用者は、携帯型及び移動型無線通信機器（送信機）と UP-20/21MD/21MDS との間の分離距離を保つことによって、電磁妨害を防ぐことができます。推奨の分離距離は、送信機器の最大出力によって、下記の通りです。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

最大定格出力が上記にリストされていない送信機器については、送信機器のメーカーが公表する最大出力定格を P（単位：ワット (W)）として、周波数に対応する式を使用して推奨分離距離 d（単位：メートル (m)）を計算できます。

備考 1: 80 MHz 及び 800 MHz においては、高い方の周波数範囲に対する分離距離を適用します。

備考 2: これらのガイドラインでは対応できない場合もあります。

電磁波伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

注意

本製品またはアクセサリを廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

この取扱説明書について

本書は、以下の UP-20 シリーズのカラービデオプリンターに共通のものです。

- ・ UP-20
- ・ UP-21MD
- ・ UP-21MDS

本書で説明する操作は、断りのないかぎり各機種に共通です。

各機種で操作が異なる場合は別々に説明してありますので、該当する部分をお読みください。

各機種の相違点は、次のとおりです。

機種名	RGB SYNC 端子	液晶ディスプレイ	給紙トレー
UP-20	無し	無し	UPC-21S/ 21L 両用 トレー
UP-21MD	有り	有り	UPC-21S/ 21L 両用 トレー
UP-21MDS	有り	有り	UPC-21S 用トレー

本書のイラストは UP-21MD/21MDS を使用しています。

操作説明では、液晶ディスプレイでの表示説明が必要な場合を除いては、モニター画面のみで説明しています。UP-21MD/21MDS をお使いのかたは、液晶ディスプレイに表示される内容については、「メニューの基本操作」(43 ページ) をご覧ください。

本機の特長

UP-20/21MD/21MDS は、ビデオデッキなどのビデオ機器からの画像を入力し、簡単な操作でプリントするカラービデオプリンターです。

UP-20/21MD/21MDS は、次の特長を備えています。

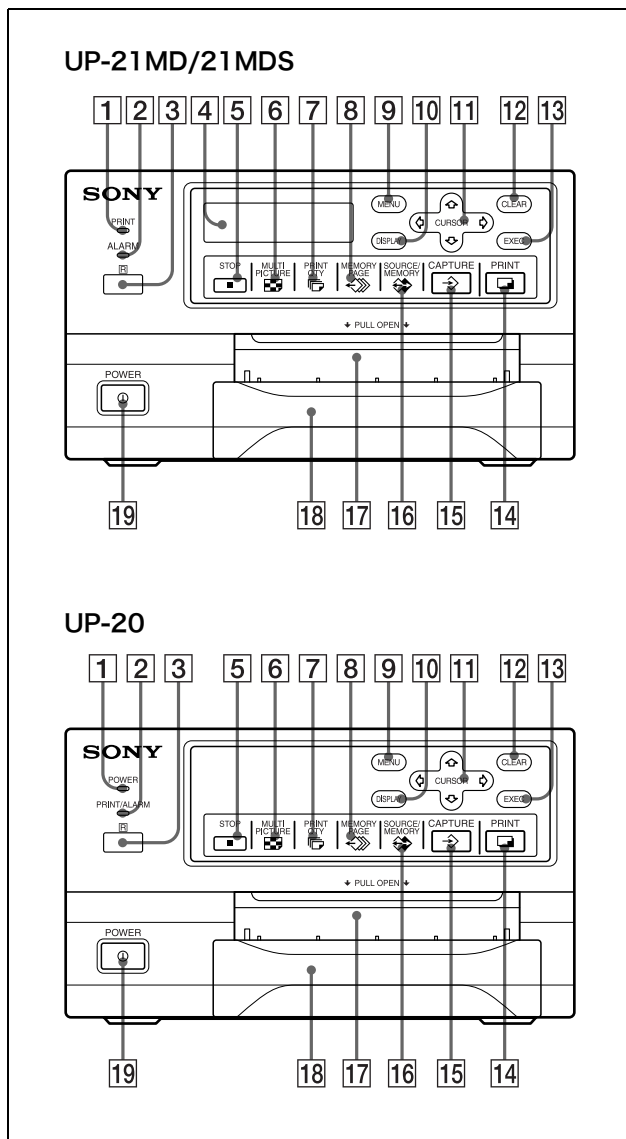
- ・ 高画質・高解像度プリント
フルカラー（各色 256 階調、1670 万色）、高解像度（約 403dpi 精密ヘッド使用）でプリントします。
- ・ ご使用になる状況に合わせたメニュー設定が可能
プリンターの設定を変えることにより、いろいろなプリント画を作ることができます。また、プリント画に文字（キャプション）を入れることもできます。これらの操作については、日常のプリント操作はボタン類で簡単に、必要に応じて行うプリンターの仕様設定や各種調整は、プリンターの液晶ディスプレイおよび本機に接続したモニターテレビに現れるメニュー操作で行うというように、機能により操作を分けて使いやすくなっています。

各部の名称と働き

ここでは、UP-20/21MD/21MDS の各部の名称と働きについて説明します。

説明は断りのないかぎり各機種に共通です。() 内の数字は、参照ページを示します。

前面



- 1 **PRINT ランプ (UP-21MD/21MDS)**
プリント中点灯します。
POWER ランプ (UP-20)
POWER スイッチをオンにすると緑色に点灯します。
- 2 **ALARM ランプ (UP-21MD/21MDS) (63)**
紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。





PRINT/ALARM ランプ (UP-20) (63)

プリント中は緑色に点灯します。紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。

- 3 **リモコン受光部 (17)**
リモコンの先端をここに向けます。
- 4 **液晶ディスプレイ (UP-21MD/21MDS のみ)**
モニター画面の表示とほぼ同じものを表示します。ただし、モニターテレビの画面表示と比べ表示される文字数が制約されるため、表示の方法が異なります。メニュー操作を行っているときは、メニューのカーソルのある行を示します。エラー発生時は、メッセージを示します。「SYSTEM-SETUP」メニューで液晶ディスプレイのコントラストを調整できます。(55 ページ)
- 5 **STOP ボタン (23)**
連続プリントを中止するときに押します。現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。
- 6 **MULTI PICTURE ボタン (30)**
通常画面で、メモリーに記憶する画像の種類を選びます。押すと、数秒間現在の画像の種類を表示します。押すごとに、1、2、4、1・・・順に切り換わります。LAYOUT SETUP メニューの MULTI PIX も連動して切り換わります。
- 7 **PRINT QTY ボタン (26)**
プリントの枚数を設定するとき押します。9 枚まで設定できます。押すと、数秒間現在の設定枚数を表示します。PRINTER SETUP メニューの PRINT QTY も連動して切り換わります。プリント中に本ボタンを押すと、プリント枚数の設定値を変更できます。
- 8 **MEMORY PAGE ボタン (27、30、39)**
使用するメモリーページを選ぶときに使います。
- 9 **MENU ボタン**
メニュー画面を出すときに、メニュー画面から通常画面に戻るときに押します。
- 10 **DISPLAY ボタン (24、40)**
通常画面が表示されている場合：管面表示 (Q1、A、S など) を表示したり消したりします。押すと、数秒間現在の設定を表示します。押すたびに、ON、OFF が切り換わります。OUTPUT SETUP メニューの DISPLAY も連動して切り換わります。

メニュー画面が表示されている場合：一時的にモニター画面の管面表示を消すとき押します。押しているあいだ管面表示は消えます。

11 カーソル移動キー

メニュー画面での操作に使用します。
通常画面上の分割画面では、、、、 ボタンを使ってカーソルを移動させることもできます。

12 CLEAR ボタン (38、39)

メモリーに記憶された画像を消すときに押します。
本ボタンを押して消去できる画像は、「FUNCTION SETUP」メニューの設定によります。
設定がOFFの場合、CLEAR ボタンを押すと、エラー音が鳴ります。

13 EXEC ボタン

COLOR ADJUST メニュー画面で設定した値を保存したり、PRINTER SETUP メニューでユーザー設定を呼び出すとき、SYSTEM SETUP メニュー画面でユーザー設定を保存するとき押します。また、キャプションを入力するとき押します。

14  PRINT ボタン

プリントするときに押します。

15  CAPTURE ボタン

プリントする画像をメモリーに記憶させるときに押します。

16  SOURCE/MEMORY ボタン

モニター画面に映し出す画像を切り換えます。押しごとに、メモリー画像と入力源の画像が切り換わります。

17 排紙口

プリント画が排出されます。
プリント画の反りの状態によっては、プリントがとまり、「トレイにたまったプリント紙を取り出してください。」(液晶ディスプレイの場合は REMOVE PRINTS) (UP-21MD/21MDS のみ) というメッセージが出て、プリントが中断される場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。続きの枚数からプリントが再開されます。
また、UP-20/21MD をご使用のかたで、UPC-21L プリントパックをご使用の場合、排出されるプリント画が給紙トレイからはみ出してたまります。プリント中、この排紙口付近をふさがないでください。紙づまりをおこすことがあります。

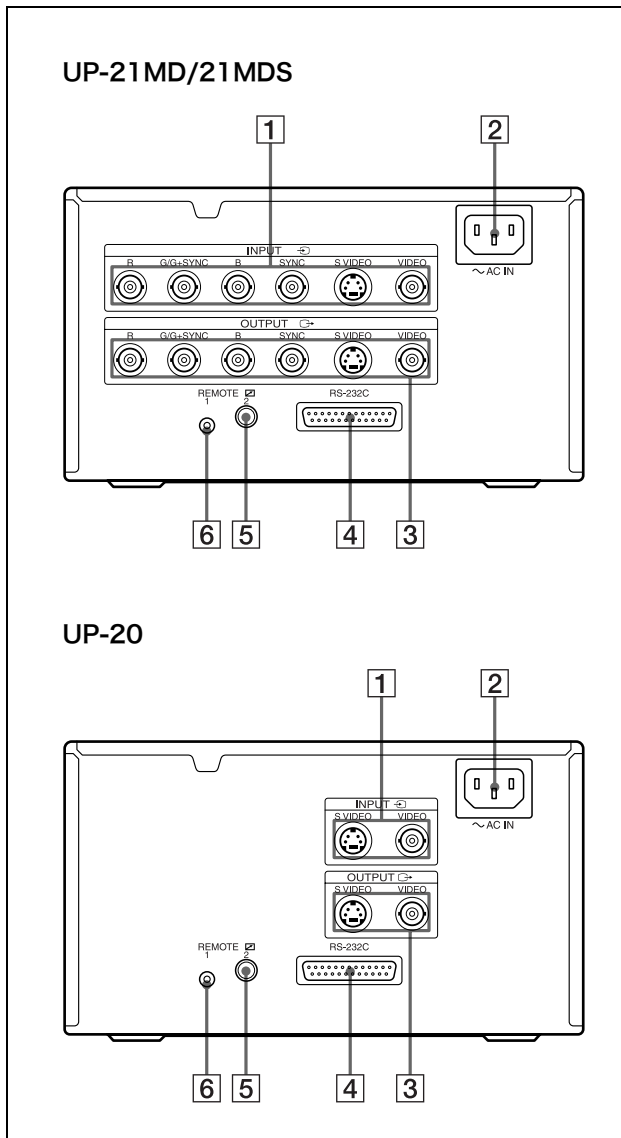
18 給紙トレイ (15、19)

プリント用紙を入れておくトレイです。

19 ① POWER スイッチ

本機の電源を ON/OFF (入/切) します。

裏面



1  INPUT (映像信号入力) 端子 (16)

入力信号用のビデオ機器などと接続します。

端子	接続機器
RGB SYNC ^{a)}	RGB 信号出力端子を持ったビデオ機器と接続する。
S VIDEO	S 映像信号出力端子を持ったビデオ機器と接続する。
VIDEO	NTSC コンポジットビデオ信号出力端子を持ったビデオ機器と接続する。

a) UP-21MD/21MDS のみに装備。

2 ～ AC IN (電源入力) 端子 (16、17)

電源コード (付属) をつなぎます。

3 ⇨ OUTPUT 端子 (16)

モニターと接続します。

端子	接続機器
RGB SYNC ^{a)}	RGB 信号入力端子を持ったモニターテレビと接続する。
S-VIDEO	S 映像信号入力端子を持ったモニターテレビと接続する。
VIDEO	NTSC コンポジットビデオ信号入力端子を持ったモニターテレビと接続する。

a) UP-21MD/21MDS のみに装備。

4 RS-232C コネクター (17)

コンピューターで本機をコントロールするとき、コンピューターを接続します。

5 REMOTE (リモート) 2 端子 (ステレオミニジャック) (17)

別売りのリモコン RM-91 と接続します。

6 REMOTE (リモート) 1 端子 (17)

別売りのリモートコントロールユニット RM-5500 をワイヤードリモコンとして使用するとき接続します。

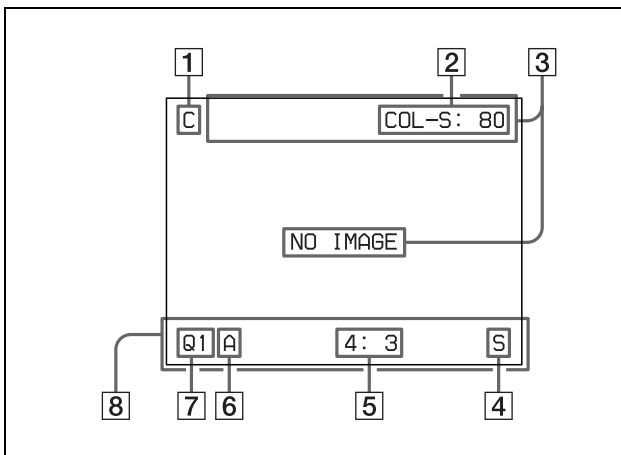
モニター画面

本機にモニターを接続した場合、モニター画面には、以下のように表示が出ます。

メニュー画面については、メニューの構成 (42 ページ) をご覧ください。

通常画面

POWER スイッチを ON にし、操作が可能となると、次の通常画面が現れます。

**1** C (CAPTION)

プリント画に日付やコメント (キャプション) が付く設定の場合は C と表示されます。

2 インクリボンの種類と残量表示部

インクリボンの種類と残量が表示されます。

3 メッセージ表示部

画面上部にエラーメッセージが表示されます。画面中央に警告メッセージが表示されます。

4 入力信号またはメモリー画像表示部

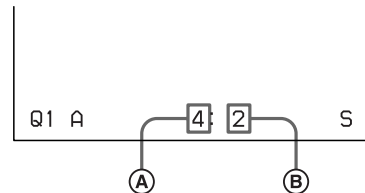
モニター画面に入力源の画像が出ている場合は、「S」と表示されます。

モニター画面にメモリーに記憶した画像 (メモリー画) が出ている場合は、「M」 (MEMORY) と表示されます。

5 プリンター動作モード表示部

プリンターの動作モード (分割画面の種類など) を表示します。

カーソルの位置 : 4 分割画面の 2 番目にある。



A 分割画面の種類を表示します。

B 現在カーソルのある位置を表示します。これから画像が記憶される箇所です。

6 メモリーページ表示部

選ばれているメモリーページを表示します。プリント中のメモリーページは点滅します。プリント予約されているメモリーページは白色に点滅します。

7 プリント枚数表示部

プリント枚数を表示します。プリント中は点滅します。

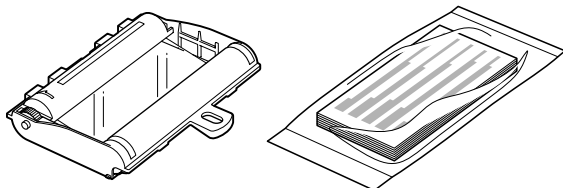
8 設定表示部

MULTI PICTURE、PRINT QTY ボタンを押すと現在の設定が表示されます。

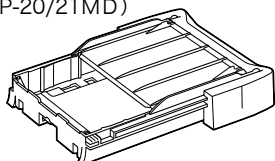
付属品を確認する

付属品を確認してください。

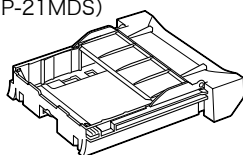
インクリボンとプリント紙 (1) ^{a)}



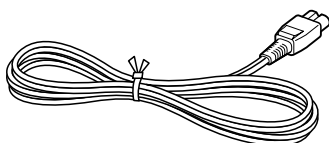
給紙トレイ (1)
(UP-20/21MD)



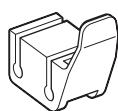
給紙トレイ (1)
(UP-21MDS)



電源コード (1)



ストッパー (1)



感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1)

3極 → 2極変換プラグ (1)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

サービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)

a) 付属のインクリボンとプリント紙は動作確認用としてお使いください。

ご注意

- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンホルダーと給紙トレイを取りはずしてください。
- 輸送の際は、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。(58 ページ)

接続する

接続時のご注意

プリントするには、プリントする画像の信号源となるビデオ機器などの接続と、画像やメニューを見るためのモニターテレビの接続が必要です。

各接続図には、本機に入力する信号源との接続、本機から出力する信号の各機器への接続、リモートコントロールで操作する場合の接続などをまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。

⚠ 注意

- 接続するときはすべての機器の電源を必ず切ってください。
- 電源コードは最後に接続してください。

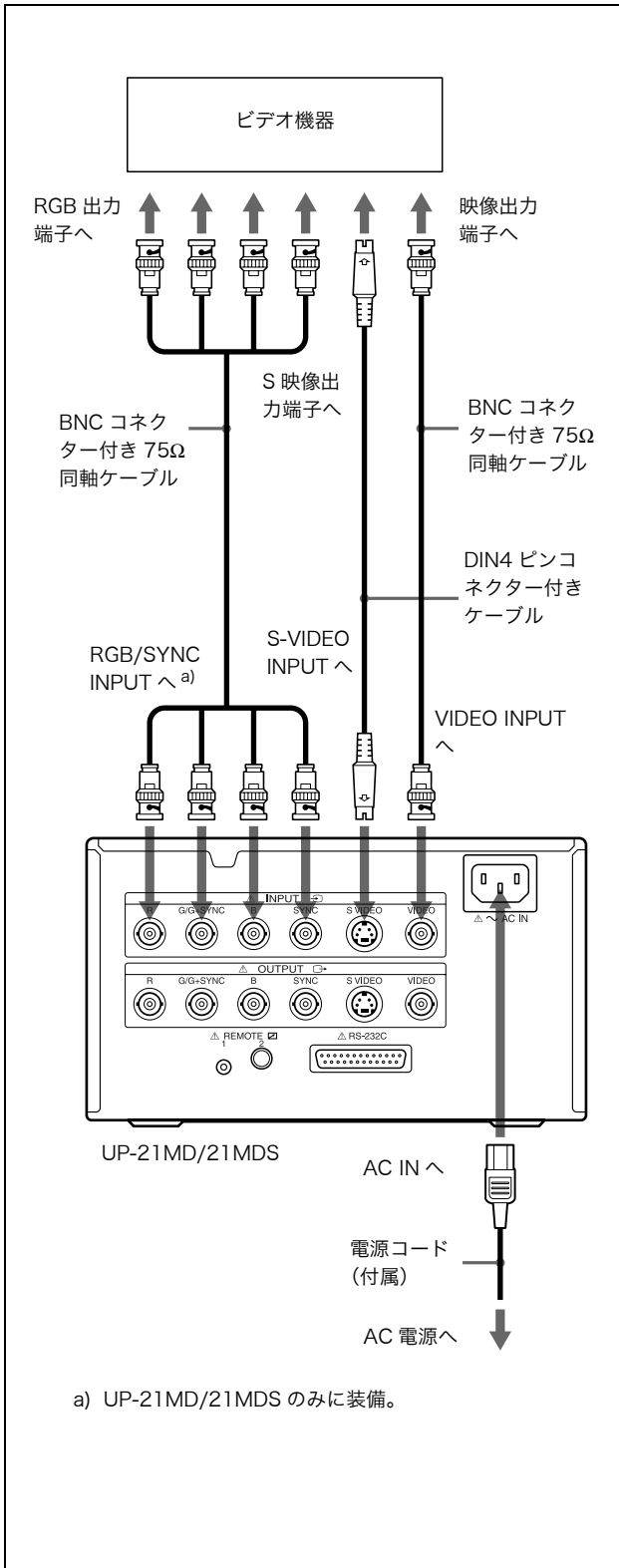
3極 → 2極変換プラグを使うときのご注意

AC電源コンセントが2芯の場合は、付属の3極 → 2極変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず接続してください。

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

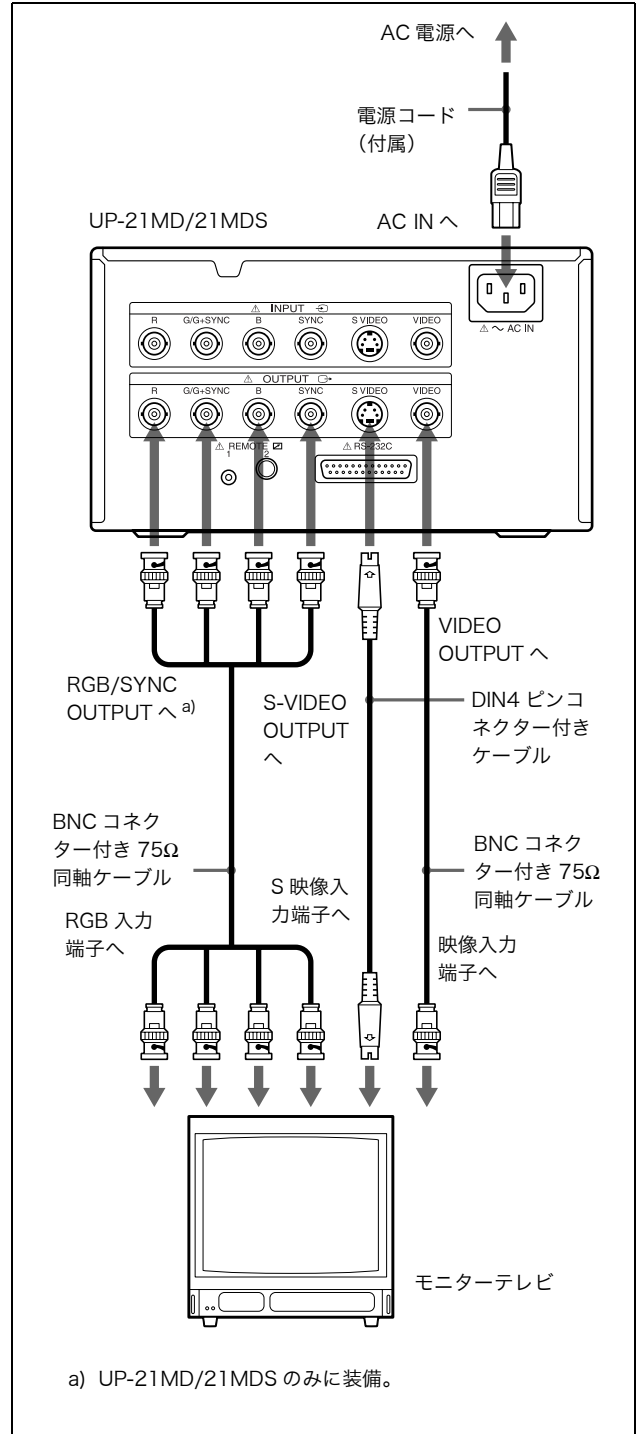
ビデオ機器を接続する

ビデオ機器などからの画像を記憶するために次の接続をします。接続はまとめて示してあります。実際の接続の際は、接続する機器に合わせて必要な信号のみを接続してください。



モニターを接続する

プリントする画像、メモリーに記憶された画像を見るためにはモニターテレビを次のように接続してください。

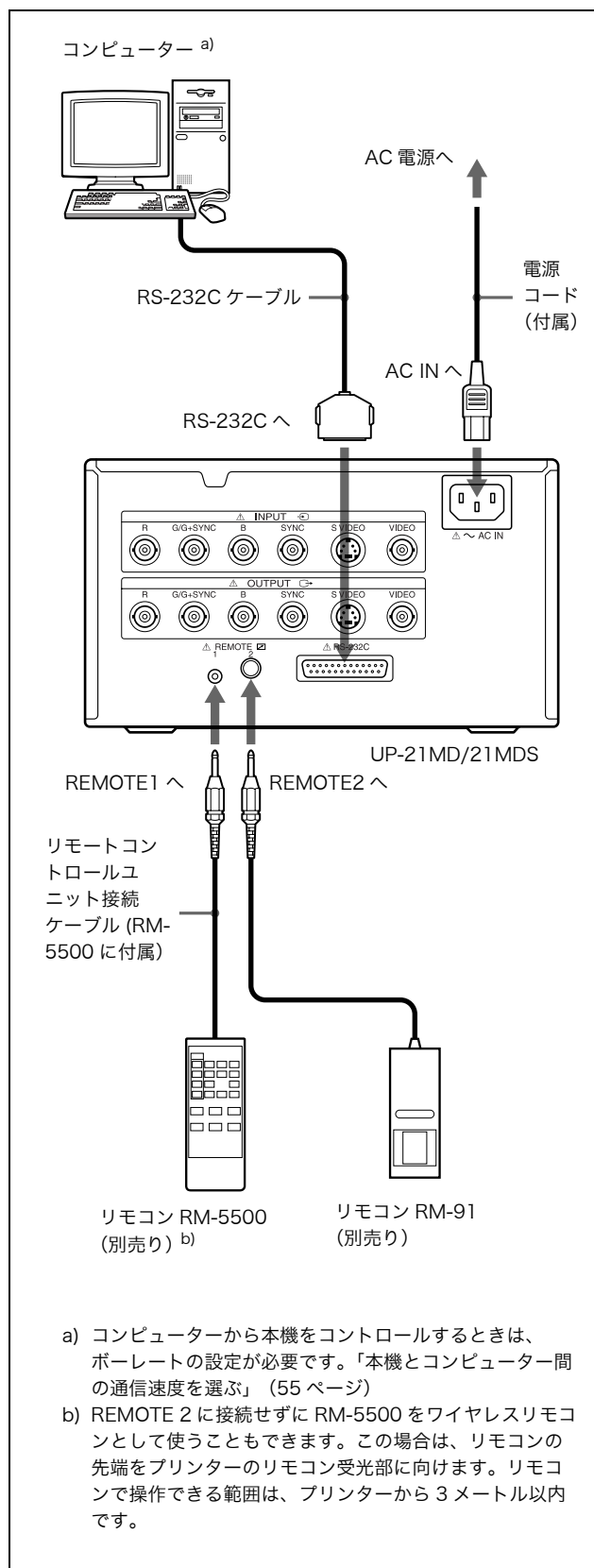


RGB SYNC OUTPUT 端子を使用して接続した場合 (UP-21MD/21MDS のみ)

RGB SYNC OUTPUT 端子に RGB (SYNC 無し) のみを接続する場合は、OUTPUT SETUP メニューの「SYNC ON G」の項目を ON に設定してください。

リモコンを接続する

別売りのリモートコントロールユニット RM-5500、RM-91、あるいはコンピューターなどを接続して、本機をリモートコントロールできます。



プリントする前に

プリンターの組み立てと接続が終わったらプリントを始める前に以下の準備を行ってください。

- ・インクリボンを取り付ける (下記)
- ・プリント紙を入れる (19 ページ)
- ・入力信号を選ぶ (21 ページ)

ご注意

- ・インクリボンとプリント紙はプリントパックとしてセットになっています。取り付ける前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください(「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(59 ページ))。
- ・インクリボンとプリント紙は、どちらかが残っていても新しいインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。
- ・必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。(「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(59 ページ)) 専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

インクリボンを取り付ける

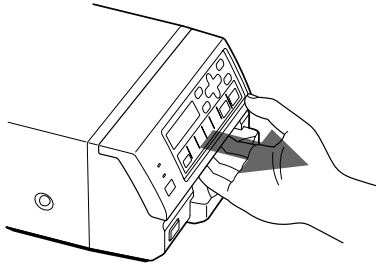
インクリボンインクリボン収納部に取り付けます。

ご注意

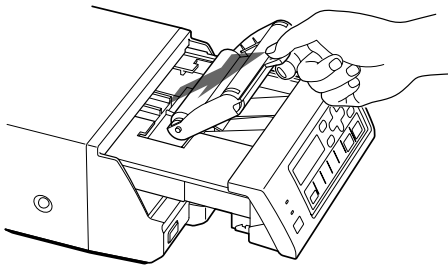
- ・インクリボンの交換や取り付け時に電源を切ると、記憶した画像が消えてしまいますのでご注意ください。
- ・プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドの位置が固定されています。フロントパネルを閉じた状態で電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンを取り付けてください。
- ・印刷されないでプリント紙が排出され、モニター画面に「リボンがありませんリボンを取りかえてください」、また液晶ディスプレイに「RIBBON END」というエラーメッセージが表示された場合は、インクリボンがなくなりました。リボンの交換をしてください。排出されたプリント紙はご使用にならないでください。
- ・インクリボンの残量が「0」と表示された場合は、インクリボンがなくなりました。インクリボン交換してください。
- ・使用中のリボンを使用した場合は、リボンの残量が正しく表示されません。
- ・使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- ・インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。

- ・付属のインクリボンとプリント紙は、動作確認用としてお使いください。また、付属のインクリボンとプリント紙を装着したときは、正しいリボン残量は表示されません。

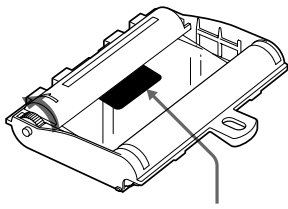
1 フロントパネルを手前に引いて開ける。



2 インクリボン交換時は、使用済みインクリボンを取り出す。



3 インクリボンのたるみを取る。 スタート位置マークが図の位置にくるようにギアを矢印の方向に回してたるみをとります。

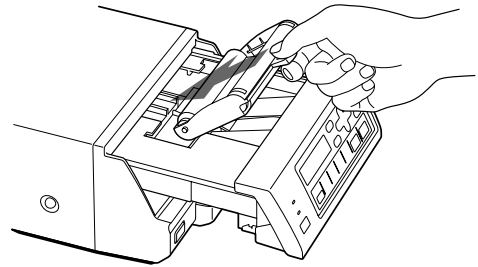


スタート位置マーク

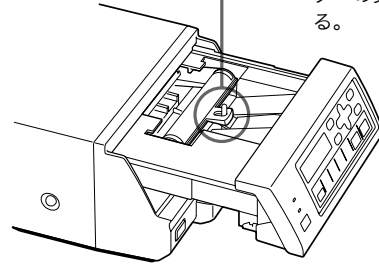
ご注意

たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。

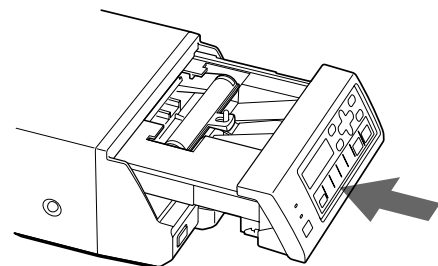
4 インクリボンを入れる。



取っ手の穴をプリンターの突起部に入れる。



5 「PULL OPEN」部を押してフロントドアを閉じる。



「PULL OPEN」部を押す。

⚠注意

- ・フロントパネルを開けたままにしておくとぶついたり、プリンターが落下する可能性がありますのでご注意ください。
- ・フロントパネルは、きちんと確実に閉めてください。フロントパネルがきちんと閉じていないと、プリント中や感熱ヘッドのクリーニング中に紙づまりや故障の原因となります。

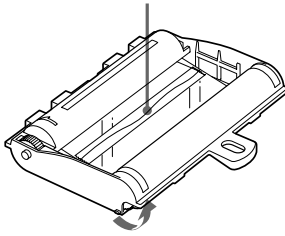
インクリボンを保存するときは

- ・温度や湿度の高いところでの保存は避けてください。
- ・使用途中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋に入れて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

セロハンテープ



セロハンテープが見えなくなるまで巻取り側のギアを矢印の方向に回してインクリボン巻取る。このとき、インクリボンがたるまないようにご注意ください。

プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手を触れないように注意してください。

ご注意

プリント紙は本機で推奨しているものをお使いください。それ以外のものをお使いになると、紙づまりなど、故障の原因になりますのでご注意ください。インクリボンとプリント紙について詳しくは、「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(59 ページ)をご覧ください。

注意

給紙トレイを着脱するときにプリンターが動いて落下する可能性がありますのでご注意ください。

- 1 給紙トレイを取り出し、カバーを開け、プリント面を上にして保護紙と一緒にプリント紙を給紙トレイに入れる。

UP-20/21MD をお使いの場合：

プリントパック UPC-21L をお使いの場合：給紙トレイの仕切りを倒してお使いください。
プリントパック UPC-21S をお使いの場合：給紙トレイの仕切りを立ててお使いください。

UP-21MDS をお使いの場合：

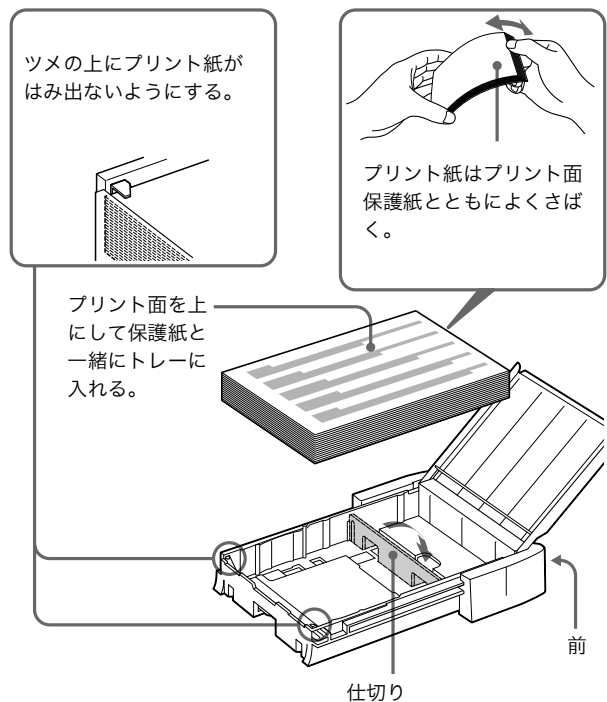
プリントパック UPC-21S 専用プリンターです。プリントパック UPC-21L はご使用になれません。

ご注意

- ・プリント紙のみを追加しないでください。プリント紙がなくなりましたら、プリント紙を補給して

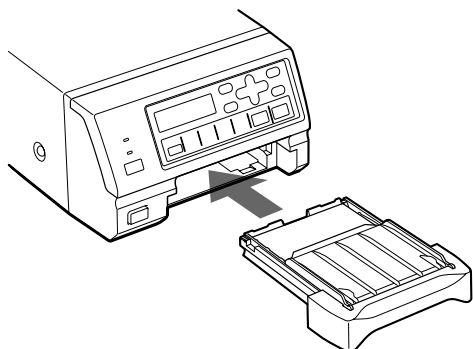
リボンを交換してください。なお、途中でプリント紙を補給した場合、紙づまりの原因になります。

- ・プリント紙を取り扱うときはプリント面に触れないでください。手あかやほこりが付着しますとプリント面に汚れを生ずることがあります。取り扱うときは、プリント面保護紙を付け、プリント面が汚れないようにします。
- ・トレイに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレイから紙がはみ出し、給紙できないことがあります。必ず、プリント面保護紙(白色で注意文が印刷されています)ごとさばいて反りをなくしてから使ってください。
- ・ひとつの給紙トレイにタイプの異なるプリント紙を混在させないでください。



- 2 保護紙を取り除く。

- 3** 給紙トレーのカバーを閉じ、給紙トレーをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

給紙トレーが奥まで差し込めない場合、給紙トレー口にプリント紙があるか確認してください。あった場合は取り除いてください。

プリント紙を保存するときは

- ・湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・使用途中で本体から取りはずして長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

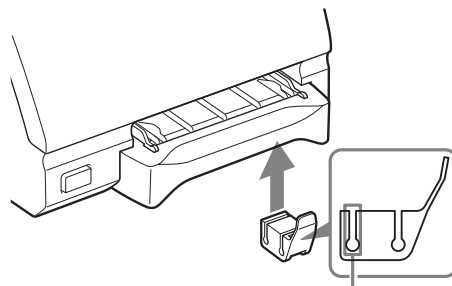
ストッパー取り付け

プリント画を複数枚排出しているとき、たまったプリント画が飛び出してしまうことがあります。飛び出してしまうのを防ぐため、付属のストッパーを下図のように取り付けてください。

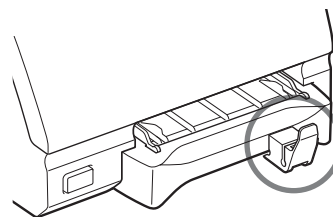
ご注意

排紙されたプリント紙を 10 枚以上ためないでください。紙づまりの原因になります。

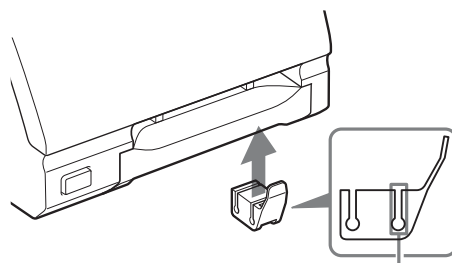
UP-20/21MD をお使いの場合



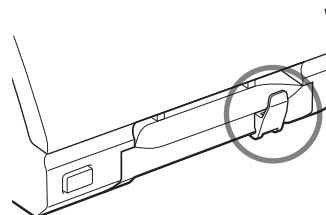
この溝を下図のようにトレーの端に差し込む。



UP-21MDS をお使いの場合

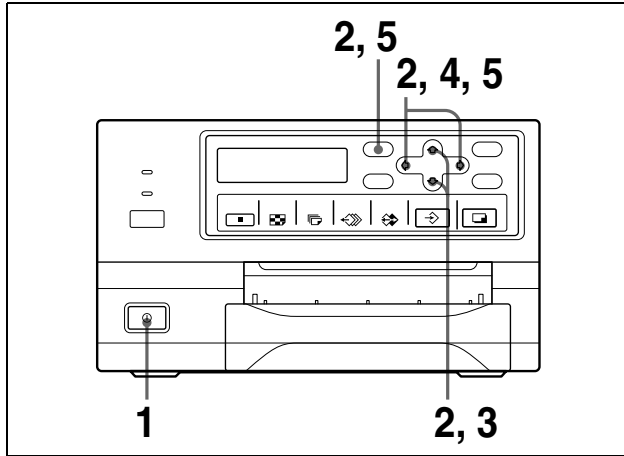


この溝を下図のようにトレーの端に差し込む。



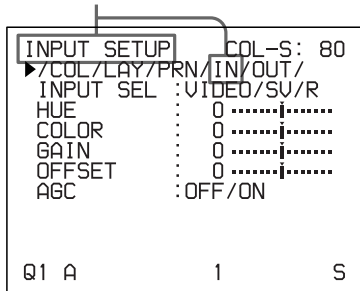
入力信号を選ぶ

プリンター裏面の入力端子に接続したビデオ機器からの画像をプリントするかを選びます。



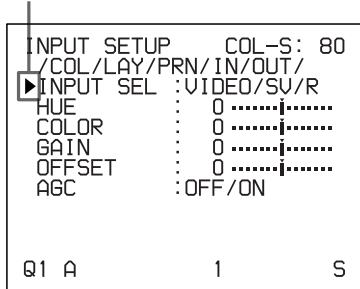
- 1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。
- 2 MENU ボタンを押し、 \leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して INPUT SETUP メニューを表示させる。

\leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow ボタンで「IN」を緑色に点灯させると、「INPUT SETUP」が表示される。



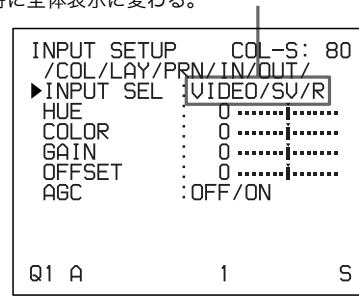
- 3 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンで「INPUT SEL」を選ぶ。

\leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押してカーソルを「INPUT SEL」に合わせる。



- 4 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンでプリントする入力信号を選ぶ。

\leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押して希望の入力信号を緑色に点灯させる。選択した入力信号は緑色に点灯し、同時に全体表示が変わる。



プリントしたい画像	画面上の表示 (選ばれた入力信号は略表示から全体表示になる)
-----------	--------------------------------

裏面の VIDEO INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	V → VIDEO
-----------------------------------	-----------

裏面の S-VIDEO INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	SV → S-VIDEO
-------------------------------------	--------------

裏面の RGB SYNC INPUT 端子に接続したビデオ機器からの画像	R → RGB a)
--------------------------------------	------------

- a) UP-21MD/21MDS のみ表示されます。
RGB を選択すると、同メニュー画面上の HUE と COLOR の選択肢表示は「*****」表示に変わり、選択できなくなります。

- 5 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

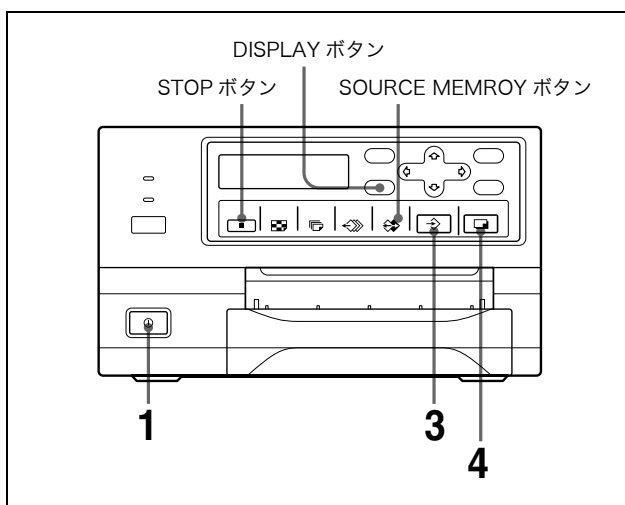
1 枚に 1 画面をプリントする

プリント紙 1 枚全体に 1 画面をプリントします。(これをフル画面と呼びます。) この操作のしかたが、プリントするときの基本的な操作手順になります。

確認

ここでの操作をする前に、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧ください。各設定は電源を切ってもそのまま残ります。

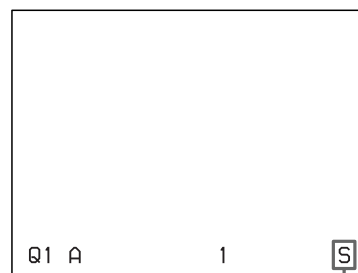
- ・ビデオ機器などと接続します。(16 ページ)
- ・インクリボンとプリント紙の組み合わせ、および正しく取り付けられていることを確認します。(17、19、59 ページ)
- ・入力信号を選びます。(21 ページ)
- ・フル画面でプリントするように設定をします。(30 ページ)
- ・メモリーページを選びます。(30 ページ)
- ・色調節 (LOAD COLOR 番号など) を確認します。(47 ページ)



1 モニターとプリンターの電源スイッチを入れる。

2 ビデオ機器などの入力源からの画像をモニター画面に映し出す。

この操作はビデオ機器など接続した機器で行います

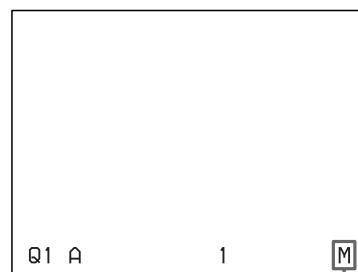


モニター画面に映し出されている画像が、入力源から送られてきている画像であることを示す。

3 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。

プリンターのメモリーに画像が記憶されます。モニター画面には、メモリーに記憶された画像が映し出されます。

プリンターの FUNCTION SETUP 機能の設定で、モニター画面の画像が自動的に入力画に切り換わるモードを選ぶこともできます。(31 ページ)



モニター画面に映し出されている画像が、プリンターのメモリーに記憶されたものであることを示す。

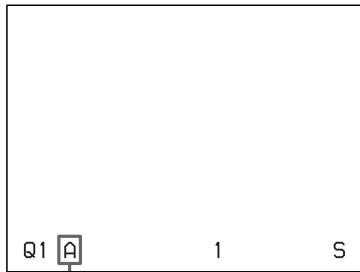
記憶した画像がぶれていたら

速く動いている画像を記憶させると、画像がぶれてしまうことがあります。メモリーモードを FIELD に変えてプリントすることにより、プリント画からぶれを取り除くことができます。この場合、解像度が多少落ちます。

LAYOUT SETUP メニュー上で、FIELD (フィールド) モードを選びます。(29 ページ)

ご注意

通常は、「FRAME」の設定でプリントすることをおすすめいたします。(ご購入時は、「FRAME」に設定されています。)設定は、画面下部の表示で確認できます。



フレームモードが選択されている場合



フィールドモードが選択されている場合

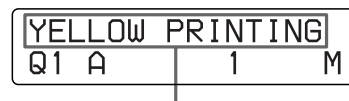
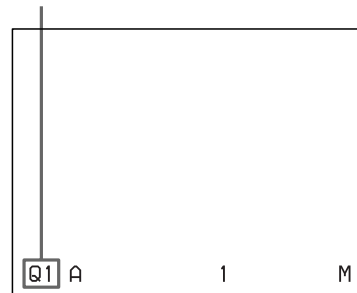
メモリーに記憶した画像を変更するには

- ① 画面にメモリー画が表示されている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押して、入力画像を表示させる。
- ② プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
メモリーには、前に記憶されていた画像に変わって新しい画像が記憶されます。

4 PRINT ボタンを押す。

プリント時間は、使用しているプリントパックの種類、プリンターの設定で変わります。

モニター画面の場合、プリント中プリントされている色が表示される。:プリント開始 → 黄色 → 紫色 → 水色 → プリント終了



液晶ディスプレイの場合 (UP-21MD/21MDS の場合)、プリントされている色が文字で表示される。

ご注意

- プリント中は電源を切らないでください。
- プリント中に電源を切ると、プリント紙が排出されず紙づまりの原因になる場合があります。
- 給紙トレイにプリント紙を 10 枚以上ためないでください。紙づまりの原因になります。10 枚以下の場合でもプリント画の状態によっては、プリントがとまり「トレイにたまったプリント紙を取り出してください」(液晶ディスプレイの場合は「REMOVE PRINTS」(UP-21MD/21MDS のみ)) というメッセージが出て、プリントが中断される場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。自動的にプリントが再開されます。
- プリント中は、動作モードの変更や WINDOW SETUP 画面上での調節などができなくなります。

プリントを止めるには

1 枚のプリント画を作成している場合:途中で止めることはできません。

同じプリント画を連続して複数枚プリントしている場合: STOP ボタンを押します。現在プリント中のものが終了した時点でプリントが終了します。また、プリント予約されたものはキャンセルされます。

枚数の設定については、「枚数を設定するには」(25 ページ)をご覧ください。

プリントできないとき

PRINT ボタンを押してもプリントできないときは、次の原因が考えられます。

- ・モニター画面または液晶ディスプレイ (UP-21MD/21MDS のみ) にエラーメッセージが表示されているとき。「メッセージ一覧」 (63 ページ)
- ・電源を切って、メモリーに記憶させた画像が消えてしまったとき。その場合はもう 1 度記憶させてからプリントしてください。

高速でプリントするには

PRINTER SETUP メニューの「PRN SPEED」を HIGH に設定します。

PRN SPEED	内容
NORMAL	通常のスピードでプリント画を作成する。
HIGH	高速でプリント画を作成する。

メニュー画面の操作については、「メニューの基本操作」 (43 ページ) をご覧ください。

画面表示の下に隠れている画像を確認したいときは

画面表示の文字 (Q1、A など) やインクリボンの種類および残り枚数表示の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、DISPLAY ボタンを押して、画面の文字を消すことができます。「モニター画面の管面表示を消す」 (40 ページ)。またインクリボンの種類および残り枚数を表示させないようにしておくこともできます。「インクリボンの種類および残量を表示させる」 (55 ページ)

プリント画に黒い線が入っていたときは

モニター画面上では入っていないのに、プリントすると黒い線が入ってしまうときがあります。このときは、黒い線が入らないように調整することができます。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」 (49 ページ)

プリント画の色がきれいに出不いときは

接続機器に合わせて入力信号の色調の補正、プリント画の画質の調整などを行ってよりきれいなプリント画を作ることができます。「プリント画の画質を調整する」 (47 ページ)、「入力映像の色調を補正する」 (45 ページ)。また、プリントパックにはペアごとに色のぼらつきがある場合があります。新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときは、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。「カラーバランスを調整する」 (51 ページ)

プリント画を保存するときは

- ・プリント画は光の当たらない室温以下のところに保存してください。

- ・プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- ・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

ユーザー登録した内容でプリントする

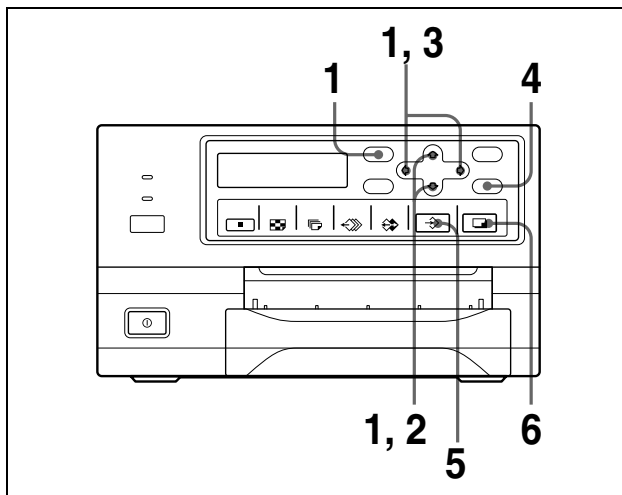
本機のメニュー画面で行えるすべての設定や調整などをユーザー設定として 3 種類登録しておくことができます。「調整値をユーザー設定として登録する」 (56 ページ) プリントするときは、ユーザー設定番号を選ぶだけで希望通りの設定のプリント画ができます。

ユーザー設定は PRINTER SETUP メニュー上で選択できます。

希望のこのユーザー設定を選んだ後、設定や調整を変更してプリントすることもできます。

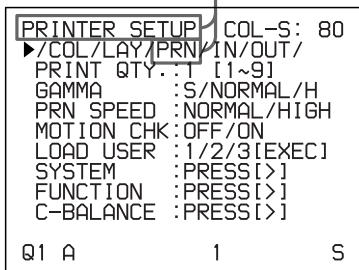
ご注意

ユーザー設定を変更すると、メモリーに記憶されている画像はすべて消えますので、ユーザー設定番号を変更する場合は、必ず、画像を記憶する前に変更してください。



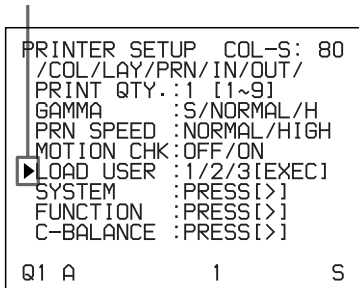
- 1 MENU ボタンを押し、 \uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押して PRINTER SETUP メニューを表示させる。

\uparrow 、 \downarrow 、 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、「PRINTER SETUP」が表示される。



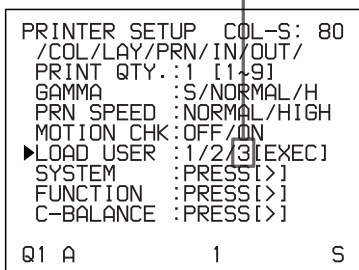
- 2 \uparrow 、 \downarrow ボタンで「LOAD USER」を選ぶ。

\uparrow 、 \downarrow ボタンを押してカーソルを「LOAD USER」に合わせる。現在選択されているユーザー設定が緑色に点灯している。



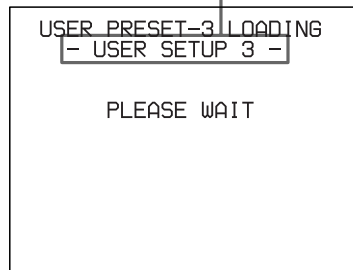
- 3 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンで希望のユーザー設定を選ぶ。

\leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押して希望のユーザー設定を緑色に点灯させる。



- 4 EXEC ボタンを押す。
手順3 で選んだユーザー設定が確定します。
選んだユーザー設定が確定されるあいだ、次のメッセージが表示されています。

ユーザー名が登録されている場合は、ユーザー名が表示される。



- 5 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。
プリンターは手順3 で選んだユーザー設定に従ってプリンターのメモリーに画像を記憶します。
- 6 PRINT ボタンを押します。
プリンターは手順3 で選んだユーザー設定に従ってプリントします。

同じプリント画を連続してプリントする

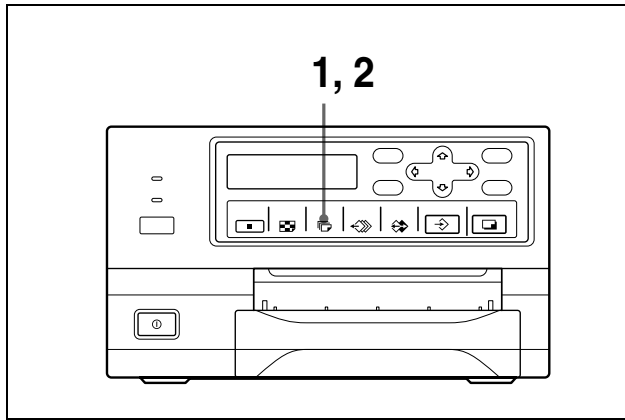
同じプリント画を続けて9枚までプリントできます。

枚数を設定するには

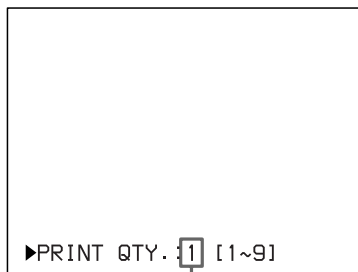
次のいずれかの操作でプリント枚数を設定します。

- PRINT QTY ボタンで指定する。この場合は、ボタンを押して枚数を減らすことはできません。
 - メニュー画面上で設定する。
- プリントする前、または、プリント中に、枚数を変更できます。

PRINT QTY ボタンで枚数を指定するには

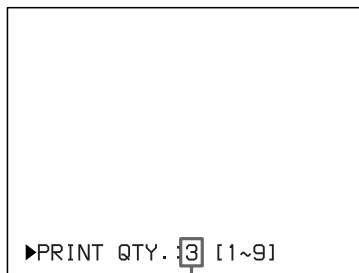


- 1 PRINT QTY ボタンを押す。
次の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在の設定枚数。

- 2 手順1で現れた画像が表示されている間に PRINT QTY ボタンを押して、希望の枚数を表示させる。PRINT QTY ボタンを押すごとに、1枚ずつ増えます。9までいくと止まります。または、 \leftarrow ボタンを押しても、1枚ずつ増えます。9までいくと止まります。



希望の枚数が現れるまで PRINT QTY ボタン、または \leftarrow ボタンを押す。

枚数を減らすには

手順1で現れた画面が表示されている間に、 \leftarrow ボタンを押すと、1枚ずつ減ります。1までいくと止まります。

メニュー画面上で指定するには

- 1 「ユーザー登録した内容でプリントする」(24ページ)の手順1の操作で PRINTER SETUP メニューを表示させる。
- 2 \uparrow 、 \downarrow ボタンで「PRINT QTY」を選ぶ。
 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押してカーソルを「PRINT QTY」に合わせる。

```

PRINTER SETUP COL-S: 80
/ COL/LAY/PRN/IN/OUT/
▶PRINT QTY.: 1 [1~9]
GAMMA : S/NORMAL/H
PRN SPEED : NORMAL/HIGH
MOTION CHK: OFF/ON
LOAD USER : 1/2/3[EXEC]
SYSTEM : PRESS[>]
FUNCTION : PRESS[>]
C-BALANCE : PRESS[>]
Q1 A 1 S
  
```

- 3 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンで枚数を指定する。

枚数の指定	押すボタン
枚数を減らすとき	\leftarrow
枚数を増やすとき	\rightarrow

\leftarrow 、 \rightarrow ボタンを押して希望の枚数を表示させる。

```

PRINTER SETUP COL-S: 80
/ COL/LAY/PRN/IN/OUT/
▶PRINT QTY.: 3 [1~9]
GAMMA : S/NORMAL/H
PRN SPEED : NORMAL/HIGH
MOTION CHK: OFF/ON
LOAD USER : 1/2/3[EXEC]
SYSTEM : PRESS[>]
FUNCTION : PRESS[>]
C-BALANCE : PRESS[>]
Q1 A 1 S
  
```

- 4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

ご注意

連続してプリントしているとき、排出されたプリント画の状態によっては、プリントが中断され、「トレイにたまったプリント紙を取り出してください」(液晶ディスプレイの場合は「REMOVE PRINTS」(UP-21MD/21MDSのみ))というメッセージが出る場合があります。その場合は、プリント紙を取り除いてください。続きの枚数からプリントが再開されます。

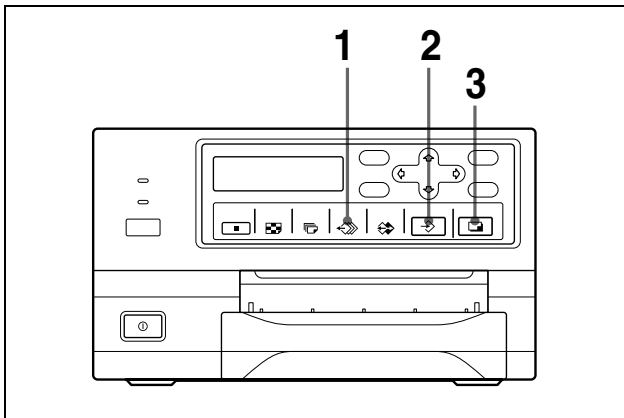
プリント中にプリント紙がなくなったときは

プリンターはプリント動作を終了します。このとき、設定枚数は、元の設定に戻ります。例えば、Q5 の設定でプリント開始し、Q3 で終了しても、プリント紙を補給して（「プリント紙を入れる」(19 ページ)）、もう一度 PRINT ボタンを押すと、5 枚プリントされます。残りの枚数だけをプリントしたい場合は、枚数を設定し直してください。

プリント中に別の画像のプリントを予約する

プリント中に、別のメモリーページを選んで画像を記憶し、次のプリントを予約できます。

使用できるメモリーページは、プリント画の種類と設定により異なります。「メモリーページについて」(30 ページ)



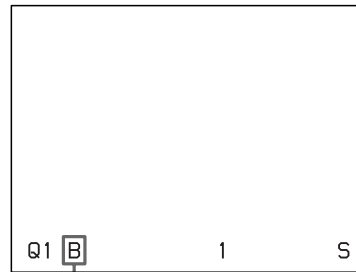
- 1 MEMORY PAGE ボタンでメモリーページを選ぶ。MEMORY PAGE ボタンを押すごとに、メモリーページが変わります。



画像を記憶できるメモリーページは白く表示される。

- 2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。

- 3 PRINT ボタンを押す。
プリントが予約されました。現在プリント中のものが終わったら、引き続きプリントされます。



予約されたメモリーページ（モニター画面上では、白色に点滅）プリントが終わるとモニター画面上のメモリーページは白く点灯する。

ご注意

すでにプリント予約されているメモリーページ（白色に点滅）には、画像を記憶できません。このような場合は、「しばらくお待ちください プリント中のメモリーです」（液晶ディスプレイの場合は「PLEASE WAIT NOW PRINTING」（UP-21MD/21MDS のみ）というメッセージが出ます。

- 4 残りのメモリーページも予約するには、手順 1、2、3 を繰り返す。

いろいろなプリント画を作る

本機では、数種類の画像をメモリーに取り込み、記憶させておくことができます。また、プリントのしかたを変えることにより、いろいろなプリント画を作ることができます。



各分割画面の画像間に白枠を付けることもできます。「白枠付き分割画面をプリントするには」(34 ページ)

メモリーモードについて - メモリーモードを選ぶ

フレームモード/フィールドモードについて

プリントするには、まずプリントする画像をプリンターのメモリーに記憶させます。

メモリーには、フレームモードとフィールドモードの2種類があります。

フレームモード：1枚のメモリーに画像を記憶します。高解像度のプリント画が得られます。

モニター画面



メモリーページ A に上記のモニター画面の画像が取り込まれる。



プリント画



静止画のときは、解像度が高くきれいなプリント画ができる。

フィールドモード：1枚のメモリーを2つに分け、それぞれのページに画像を記憶します。動画のときは、ぶれの少ないプリント画ができます。

モニター画面



メモリーページ A1 に上記のモニター画面の画像が取り込まれる。

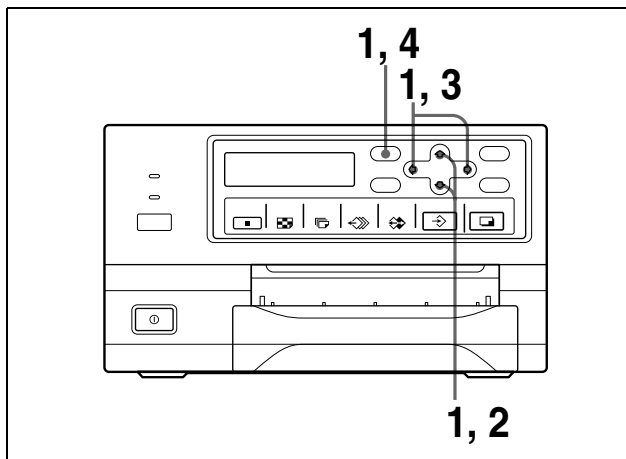


プリント画



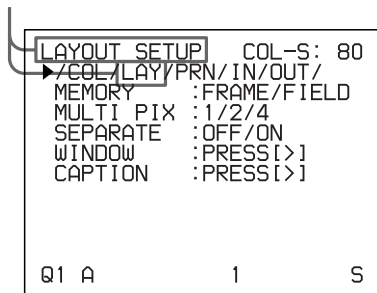
動画のときは、ぶれの少ないプリント画ができる。

メモリーモードを選ぶには



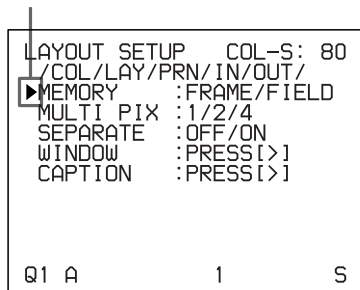
- 1 MENU ボタンを押し、**⇐**、**⇨**、**⇩**、**⇪** ボタンを押して LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

⇐、**⇪** ボタンで「LAY」を緑色に表示させると、「LAYOUT SETUP」が表示される。



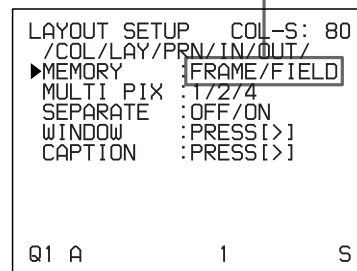
- 2 **⇐**、**⇨** ボタンで「MEMORY」を選ぶ。

⇐、**⇨** ボタンを押して、カーソルを「MEMORY」に合わせる。



- 3 **⇐**、**⇨** ボタンで希望のモードを選ぶ。

⇐、**⇨** ボタンで希望のモードを緑色に点灯させる。



モード	内容
FRAME	通常はこのモードでプリントすることをおすすめします。
FIELD	動きの速い入力源の画像をプリントするときこのモードにするとぶれが少なくなります。

- 4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

メモリーページを選ぶ

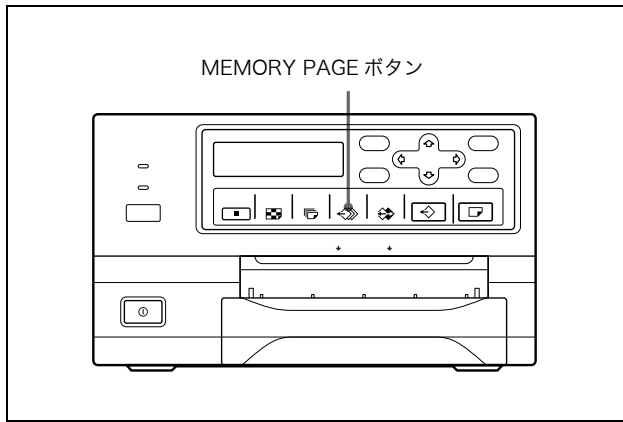
メモリーページについて

画像を記憶するのに使用されるメモリーをメモリーページと呼んでいます。

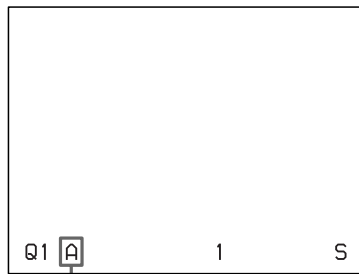
使用できるメモリーページの数は、選択する分割画面の種類およびメモリーモードにより異なります。

使用できるメモリーページ	プリント画
フレームモードの場合	フィールドモードの場合
A、B、C、D	A1、A2、B1、B2、 C1、C2、D1、D2
A、B	A1、A2、B1、B2
A	A1、A2

メモリーページを選ぶには



使用したいメモリーページが現れるまで MEMORY PAGE ボタンを押す。



現在選択されているメモリーページ

分割画面を作る - マルチプリント

プリント紙 1 枚に、数種類の画面（分割画面といいます）をプリントすることができます。ここでは、分割画面のプリント画の作りかたを説明します。

分割画面は、次の設定を行ってください。

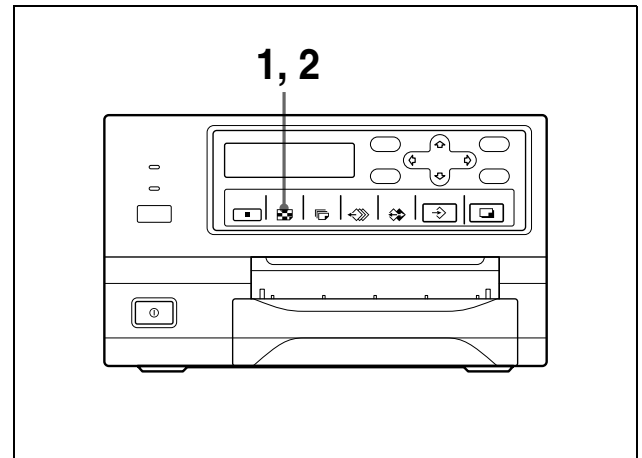
- ・メモリーに取り込む画像の数を決める。（下記）
- ・メモリーページを選ぶ。（30 ページ）

メモリーに取り込む画像の数を選ぶには

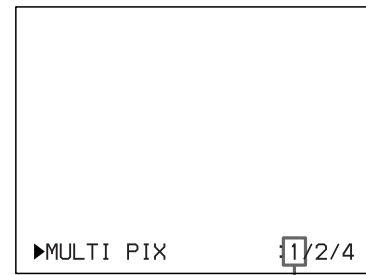
次のいずれかの操作で画像の数を選べます。

- ・MULTI PICTURE ボタンを使用して選ぶ。
- ・メニュー画面上で設定する。

MULTI PICTURE ボタンを使用して選ぶには



- 1 MULTI PICTURE ボタンを押す。
現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在選ばれている分割画面が緑色に点灯している。

- 2 希望の画面の種類が緑色に点灯するまで、または液晶ディスプレイに希望の分割画面の種類が表示されるまで MULTI PICTURE ボタンを繰り返し押す。

押すごとに画面の種類は次の順で切り換わります。

表示される画像の種類	プリントする画像の数 () 内 は本書での呼称)
1	1 個 (フル画面)
2	2 個 (2 分割画面)
4	4 個 (4 分割画面)

数秒後に通常画面に戻ります。

メニュー画面で選ぶには

1 「メモリーモードを選ぶには」 (29 ページ) の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 上、下 ボタンで「MULTI PIX」を選ぶ。

上、下 ボタンを押してカーソルを「MULTI PIX」に合わせる。

```
LAYOUT SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
MEMORY :FRAME/FIELD
▶MULTI PIX :1/2/4
SEPARATE :OFF/ON
WINDOW :PRESS[>]
CAPTION :PRESS[>]

Q1 A 1 S
```

3 左、右 ボタンで希望の分割画面を選ぶ。

左、右 ボタンを押して希望の分割画面を緑色に点灯させる。

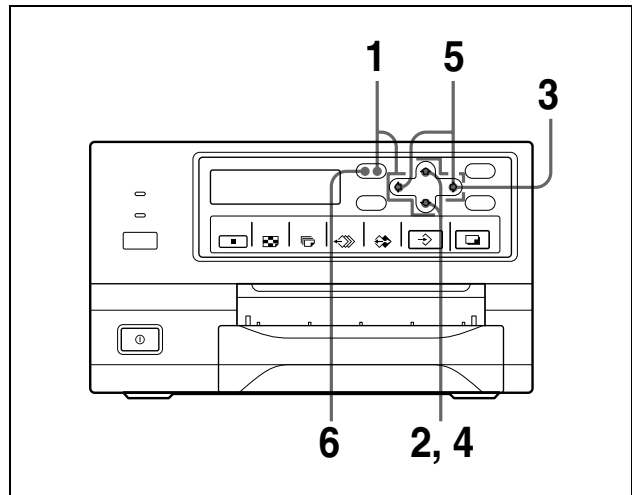
```
LAYOUT SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
MEMORY :FRAME/FIELD
▶MULTI PIX :1/2/4
SEPARATE :OFF/ON
WINDOW :PRESS[>]
CAPTION :PRESS[>]

Q1 A 1 S
```

4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには

画像を記憶させたあと、モニター画面に現れる画像を、入力画とするかまたは記憶したメモリー画にするかを設定できます。



1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。
(PRINTER SETUP メニューを表示させる方法については、「ユーザー登録した内容でプリントする」 (24 ページ) 手順 1 をご覧ください。)

2 上、下 ボタンで「FUNCTION」を選ぶ。

上、下 ボタンを押してカーソルを「FUNCTION」に合わせる。

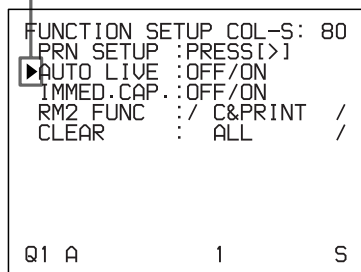
```
PRINTER SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.:1 [1~9]
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :NORMAL/HIGH
MOTION CHK:OFF/ON
LOAD USER :1/2/3[EXEC]
SYSTEM :PRESS[>]
▶FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]

Q1 A 1 S
```

3 右 ボタンを押す。
FUNCTION SETUP メニュー画面が現れます。

4 上、下ボタンで「AUTO LIVE」を選ぶ。

上、下ボタンを押してカーソルを「AUTO LIVE」に合わせる。



5 左、右ボタンで記憶したあとに表示される画像の種類を選ぶ。

選ぶとき	設定
メモリーに記憶された画像をモニターに出たままにするとき	OFF
メモリーに記憶された画像を表示させ、数秒後に入力画をモニターに表示させるとき	ON

6 MENU ボタンを押す。 通常の画面に戻ります。

PRINTER SETUP メニュー画面に戻る場合は

手順6でカーソルを「PRN SETUP」に合わせ右ボタンを押します。

PRINTER SETUP メニュー画面が現れます。

分割画面をプリントするには

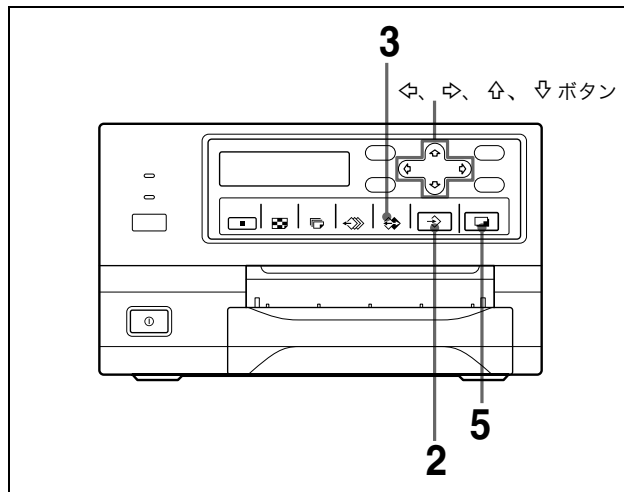
ここでは、例として1枚の画面に4種類の画像を入れる4分割画面のプリントのしかたについて説明します。他の分割画面も同じ操作でプリントできます。

確認

4分割画面を記憶するには、以下のことを済ませておいてください。済ませていない場合は、参照ページをご覧ください。

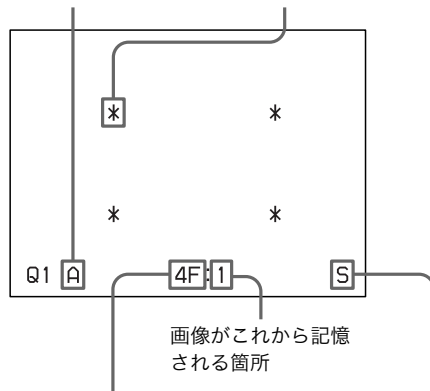
- ・色調節 (LOAD COLOR 番号など) を確認します。(47 ページ)
- ・4分割画面に設定します。(30 ページ)
- ・記憶するメモリーページを選びます。(30 ページ)
- ・メモリーに画像を記憶したあとの画面の現れかたを決めます。(31 ページ)
- ・プリント画に白枠を付けるか付けないかを決めます。(34 ページ)

白枠を付けるか付けないかは、4種類の画像をメモリーに取り込む前でも後でも設定できます。



1 ビデオ機器など (入力源) からの画像 (入力画と呼びます) をモニター画面に映し出す。 この操作は接続した機器で行います。

4分割画面が記憶されるメモリーページ 緑色に点滅:画像がこれから記憶される箇所

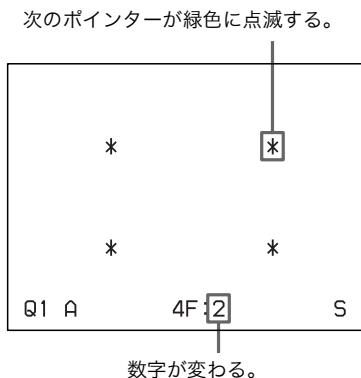


分割画面の種類
白枠が付く設定。白枠が付かない場合は、「4」と表示される。

モニター画面に出ている画像が入力源から送られてきているものであることを示す。

2 プリントしたい画像が現れたら、CAPTURE ボタンを押す。

手順1でモニター画面では緑色に点滅、液晶ディスプレイでは表示されていた箇所へ画像が記憶されます。画像を記憶する箇所は次に移動し、点滅を始めます。液晶ディスプレイでは、数字が変わります。



このとき、画像を記憶した箇所にメモリー画が表示されていますが、そのあとの画面はFUNCTION-SETUPメニューの「AUTO LIVE」の設定により異なります。(32 ページ)

メモリー画が出たままの場合は、手順3に進みます。次に記憶する箇所へ入力画が出ている場合は、手順4に進みます。

3 SOURCE/MEMORY ボタンを押す。 モニター画面は、ソース画に戻ります。

4 メモリー画が出たままの場合は、手順2、3を繰り返し、4個の画像を記憶する。 次に記憶する箇所へ入力画が出ている場合は、手順2を繰り返し、4個の画像を記憶します。

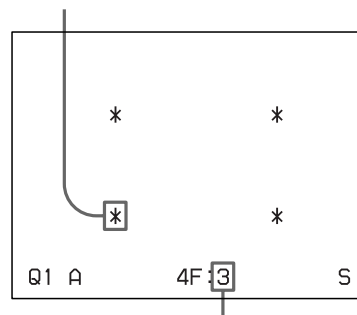
画像を記憶し直すには

例：3つめの画像を記憶し直します。

- ① 左、右、上、下 ボタンで3つめの画像の位置を選ぶ。

左、右、上、下 ボタンを押すごとに、メモリーする箇所は縦、または横の一つずつ移動します。

左、右、上、下 ボタンを押して3つめの画像のポインターを緑色に点滅させる。



左、右、上、下 ボタンを押すと3が表示される。

- ② モニター画面にソース画を表示させる。
操作については、上記手順3をご覧ください。

- ③ CAPTURE ボタンを押す。
前に記憶されていた画像が変わって新しい画像が記憶されます。

すでに記憶されている画像を残しておくには

残しておきたい箇所を左、右、上、下 ボタンで飛ばして画像を記憶します。すでに記憶された画像があるとき、CAPTURE ボタンを押すと、前の画像は消えて新しい画像が記憶されます。

- 5 PRINT ボタンを押す。
分割画面のプリント画がプリントされます。
印刷されたプリント画に白枠が付いているかいないかは、LAYOUT SETUPメニューの「SEPARATE」の設定によります。(34 ページ)

プリント画がぶれていたら

FRAME モードで取り込んだ2分割または4分割画面およびフル画面をプリントした場合、ぶれることがあります。このような場合は、LAYOUT SETUPメニュー上で、FIELD モードを選択します。「メモリーモードを選ぶには」(29 ページ)

プリントした場合、ぶれはなくなりますが、解像度が多少落ちます。

ご注意

通常は、FRAME モードでプリントしてください。設定を確認するには、LAYOUT SETUPメニュー上で確認してください。

取り込んだ画像がぶれているどうかをチェックするにはフル画面の場合：モニター画面の表示をメモリー画にするとぶれがあるかどうか確認できます。

2分割/4分割画面の場合：PRINTER SETUP メニュー上で、MOTION CHECK 機能を ON にしておくと、モニター画面上でメモリー画のぶれを確認できます。ただし、この場合、モニター画面の表示の解像度が多少落ちます。

ご注意

MOTION CHEK の設定は、モニター表示にのみ有効となります。設定を切り換えてもプリント画には影響はありません。プリント画のぶれを取りたい場合は、メモリーモードの設定を切り換えてください。(上記「プリント画がぶれていたら」)

1 「ユーザー登録した内容でプリントする」(24 ページ) の手順 1 の操作で PRINTER SETUP メニューを表示させる。

2 左、右 ボタンで「MOTION CHK」を選ぶ。

左、右 ボタンを押して、カーソルを「MOTION CHK」に合わせる。

```
PRINTER SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.:1 [1~9]
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :/HIGH
▶MOTION CHK:OFF/ON
LOAD USER :1/2/3[EXEC]
SYSTEM :PRESS[>]
FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

3 左、右 ボタンで希望の設定を選ぶ。

左、右 ボタンで希望のモードを緑色に点灯させる。

```
PRINTER SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.:1 [1~9]
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :NORMAL/HIGH
▶MOTION CHK OFF/ON
LOAD USER :T7Z73[EXEC]
SYSTEM :PRESS[>]
FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

設定	選ぶとき
OFF	2分割、4分割画面で文字の画像や細かなパターンの画像を見る場合
ON	2分割、4分割画面でメモリー画像がぶれているかどうか確認する場合

4 MENU ボタンを押す。
標準画面に戻ります。

白枠付き分割画面をプリントするには

分割画面をプリントするときに、白枠を付けるか付けないかを設定できます。

ご注意

この設定は、メモリーに取り込まれている分割画面に対しても有効となります。

1 「メモリーモードを選ぶには」(29 ページ) の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 左、右 ボタンで「SEPARATE」を選ぶ。

左、右 ボタンを押してカーソルを「SEPARATE」に合わせる。

```
LAYOUT SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
MEMORY :FRAME/FIELD
MULTI PIX :1/2/4
▶SEPARATE :OFF/ON
WINDOW :PRESS[>]
CAPTION :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

3 左、右 ボタンで白枠を付けるか付けないかを決める。

左、右 ボタンを押して希望の設定を緑色に点灯させる。

```
LAYOUT SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
MEMORY :FRAME/FIELD
MULTI PIX :1/2/4
▶SEPARATE OFF/ON
WINDOW :PRESS[>]
CAPTION :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

選ぶとき	設定
白枠を付けないとき	OFF
白枠を付けるとき	ON ^{a)}

a) 白枠を付ける設定にすると、選ばれた分割画面の表示に F が付きます。
例：「4F」

4 MENU ボタンを押す。
通常画面が現れます。

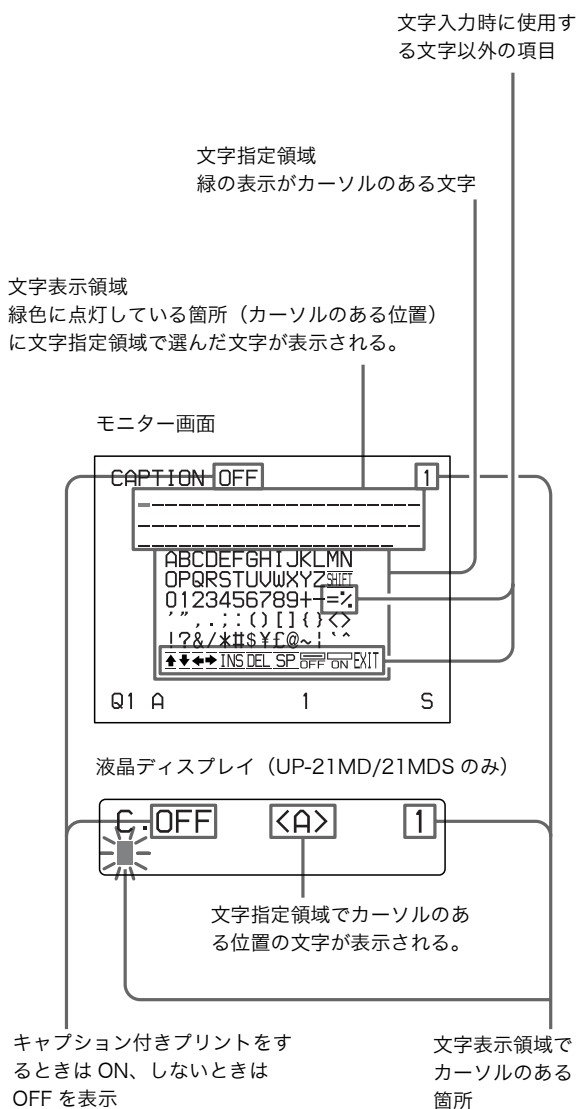
プリント画に日付けやコメントを入れる

日付けやコメントなどのキャプションをプリント画の下に小さく入れることができます。最高 58 文字まで入力することができます。

日付けやコメントは、CAPTION（キャプション）メニュー画面上で作成します。

実際の操作を始める前に、文字を入力するときの CAPTION メニュー画面の読みかたを説明します。

CAPTION メニュー画面について

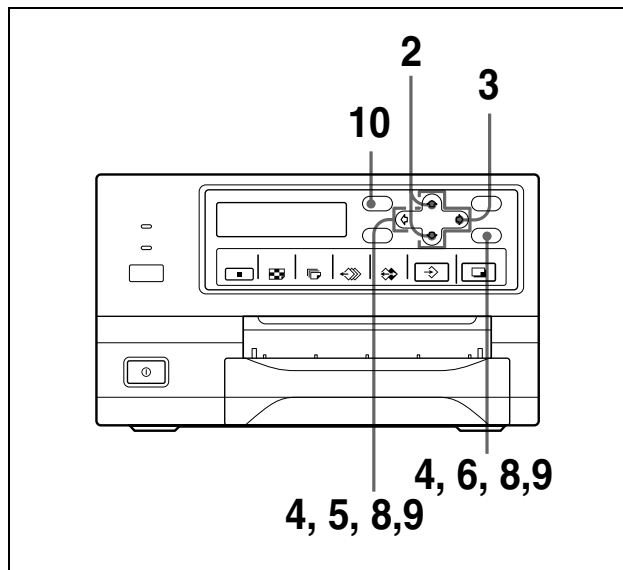


文字入力時に使用する文字以外の項目

モニター画面の表示	機能
INS	カーソルのある箇所に文字を挿入する。
DEL	カーソルのある箇所の文字を消しながら戻る。
SP	カーソルのある箇所にスペースを入れる。文字は削除されスペースが残る。
OFF	キャプションを付けないプリント画を作る。
ON	キャプション付きプリント画を作る。
EXIT	CAPTION 画面から LAYOUT SETUP 画面に戻る。
SHIFT	文字指定領域画面の文字を大文字にするか小文字にするか選ぶ。

文字を入力する

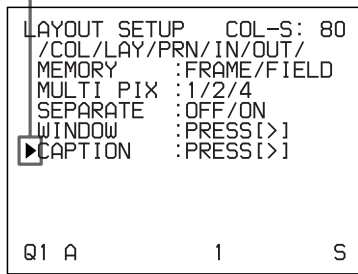
次の手順で文字を入力してください。メモリーに記憶された文字は、電源を切っても保持されています。



- 1 「メモリーモードを選ぶには」（29 ページ）の手順 1 の操作で LAYOUT SETUP メニューを表示させる。

2 各、各ボタンで「CAPTION」を選ぶ。

各、各ボタンを押してカーソルを「CAPTION」に合わせる。



3 各ボタンを押す。

CAPTION 入力画面が現れます。

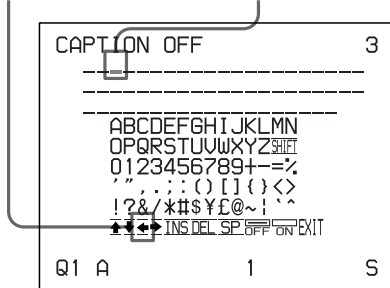
4 緑のライン（文字表示領域でのカーソル）を、文字表示領域の文字を入れたい位置に移動させる。

カーソルを移動させるには

- ① 各、各、各、各ボタンで、カーソルを移動させたい方向の矢印を選んで緑色に点滅させる。
- ② EXEC ボタンを押す。
カーソルは、① で選んだ矢印の方向に 1 つ移動します。

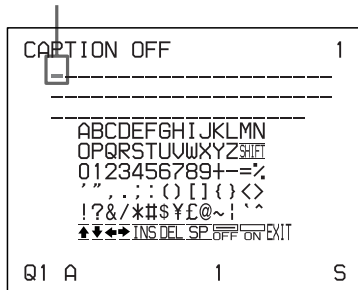
例：カーソルを左に 2 つ移動させる。

- ① 各を緑色に点滅させる。現在カーソルはこの位置にある。(緑色に点灯)



カーソルはこの位置に移動する。

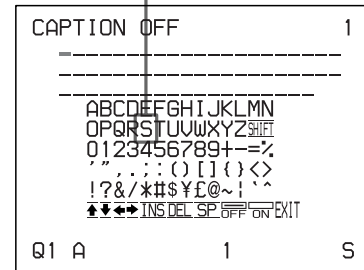
- ② EXEC ボタンを 2 回押す。



5 各、各、各、各ボタンで入力する文字を選ぶ。

例：S を入力します。

各、各、各、各ボタンを押して S を緑色に点滅させる。



液晶ディスプレイを見ながら文字を入力する場合

各、各ボタンを使用して入力したい文字を表示させることをおすすめいたします。

カーソルが文字表示領域の右端にある場合

各ボタンを押すと、次の段の左端に移動します。例えば、カーソルが N の位置にあるときに、各ボタンを押すとカーソルは次の行の左端 O の場所に移動します。

カーソルが EXIT の位置にある場合

各、各ボタンのみ使用できます。各ボタンを押すとカーソルは文字表示領域の先頭 A の位置に移動します。各、各ボタンを押すとブザー音が鳴ります。

大文字、小文字を変えるには

大文字を小文字に、小文字を大文字に変えることができます。

- ① モニター画面上では、各、各、各、各ボタンで、SHIFT を選んで緑色に点滅させる。
液晶ディスプレイでは、各、各、各、各ボタンで、SHIFT、または shift を表示させます。液晶ディスプレイでは、文字指定領域が現在大文字で表示されている場合は SHIFT が、小文字で表示されている場合は shift が表示されています。
- ② EXEC ボタンを押す。
文字指定領域の文字は、大文字の場合は小文字に、小文字の場合は大文字に変わります。

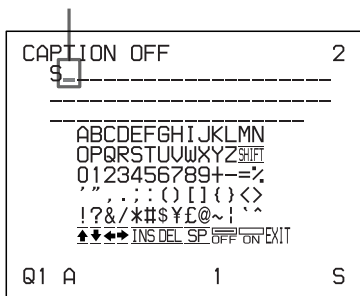
ご注意

すでに入力した文字（文字表示領域の文字）は変わりません。

6 EXEC ボタンを押す。

文字表示領域のカーソルの位置に手順5で選んだ文字が入力され、カーソルは、次の位置に移動します。

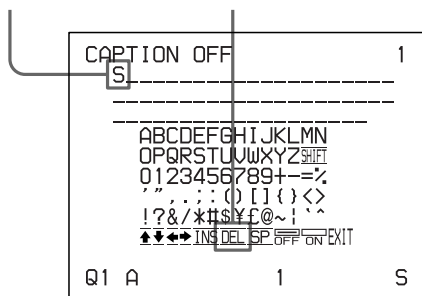
カーソルはこの位置に移動する。



間違えて文字を入力した場合

- ① 左、右、上、下 ボタンで左を選び、EXEC ボタンを押す。
カーソルが1つ前に戻り、手順5で間違えて入力した文字が緑色に点灯します。
- ② 左、右、上、下 ボタンで「DEL」を選ぶ。

左、右、上、下 ボタンを押して緑色に点灯。 DEL を緑色に点滅させる。



- ③ EXEC ボタンを押す。
文字が削除されます。
手順①で選んだ文字が、表示されている文字の間にある場合は、文字が削除されたところは次の文字が移動してきます。

ご注意

削除実行中に画面が一瞬暗くなることがあります。

- 7 手順4、5、6を繰り返して、キャプションを入力する。

1文字分空けるには

1文字空けたいところにカーソルを移動し、左、右、上、下 ボタンでSPを選んでから、EXEC ボタンを押します。
文字表示領域上で、1文字分のスペースを空けてカーソルは次に移動します。

文字数を変えずに部分的に修正するには

すでに入れたキャプションで、ある文字だけを修正することができます。

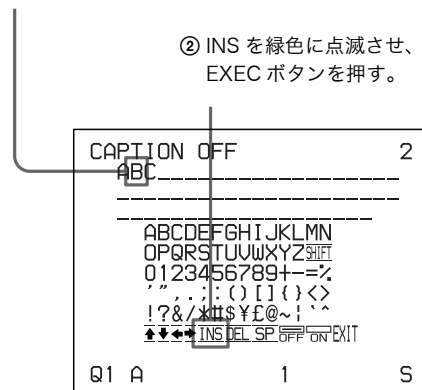
- ① 手順4の方法で文字表示領域のカーソルを修正したい文字の位置まで移動させる。
- ② 手順5、6の方法で、正しい文字を重ね書きする。
古い文字は消えて新しい文字に書き直されます。

途中で文字を追加するには

- ① 手順4の方法で文字表示領域のカーソルを、追加したい箇所にある文字の位置まで移動させる。
- ② 左、右、上、下 ボタンで「INS」を選んでから、EXEC ボタンを押す。
文字と文字との間に空きができ、カーソルはその空きの位置にあります。
- ③ 追加したい文字を入力する。
キャプション ON/OFF 機能を変更しない場合は手順9に進みます。

例：AとBの間に追加したいとき

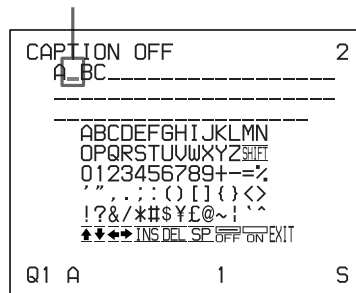
- ① Bの位置にカーソルを移動させる。
(緑色に点灯)



- ② INS を緑色に点滅させ、EXEC ボタンを押す。

AとBの間に空きができ、カーソルはその位置にあります。

カーソル (緑色に点灯)

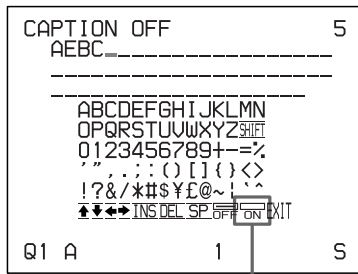


ご注意

EXEC ボタンを押したあと画面が一瞬暗くなる場合があります。

8 キャプションを付けてプリントする機能を「ON」にする。

① ←、⇐、⇨、⇩ ボタンで「ON」を選ぶ。

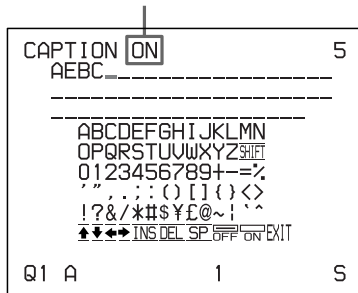


←、⇐、⇨、⇩ ボタンを押して「ON」を緑色に点滅させる。

キャプションを付けない場合は、「OFF」を選びます。

② EXEC ボタンを押す。

表示がOFFからONに変わる。



9 すべての文字の入力が終了したら、通常画面に戻る。←、⇐、⇨、⇩ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押します。

入力したキャプションはメモリーに記憶されます。LAYOUT SETUP メニュー画面に戻ります。

10 MENU ボタンを押す。

ご注意

手順9の操作を行う前に、プリンターの電源をオフにした場合は、手順4～7で入力した文字は記憶されません。

メモリーに記憶した画像を消す

CLEAR ボタンを使って、すべてのメモリーページに記憶されている画像をまとめて消すことや、あるメモリーページだけを消すことができます。

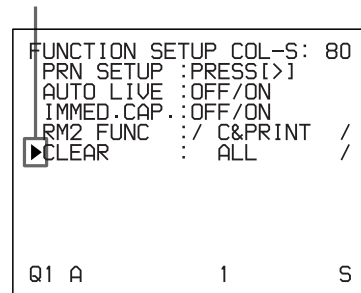
CLEAR ボタンを押した場合、すべてのメモリーの画像が消されるか、あるメモリーページだけが消されるかは、メニューの「FUNCTION SETUP」の「CLEAR」の項目の設定によります。

CLEAR ボタンの機能を設定する

1 「モニターの画像を取り込んだときの表示のしかたを設定するには」（31 ページ）の手順1～手順3の操作でFUNCTION SETUPメニューを表示させる。

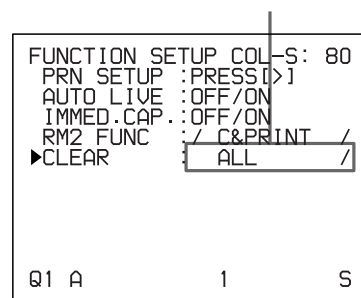
2 ⇨、⇩ ボタンで「CLEAR」を選ぶ。

⇨、⇩ ボタンを押してカーソルを「CLEAR」に合わせる。



3 ←、⇐ ボタンで CLEAR ボタンの機能を選ぶ。

←、⇐ ボタンで設定したい機能を緑色に点灯させる



CLEAR ボタンの機能	選択する項目
全てのメモリーページに記憶されている画像を1度に消す。	ALL
メモリーページごとに消す。	PAGE
CLEAR ボタンが働かないようにする。	OFF

- 4** 凸、凹ボタンで「PRN SETUP」を選び、⇒ボタンを押す。
PRINTER SETUP メニュー画面に戻ります。
1 度設定すると、次に変更するまで CLEAR ボタンの機能は変わりません。

通常画面に戻るには
MENU ボタンを押します。

メモリーに記憶されている画像を消す

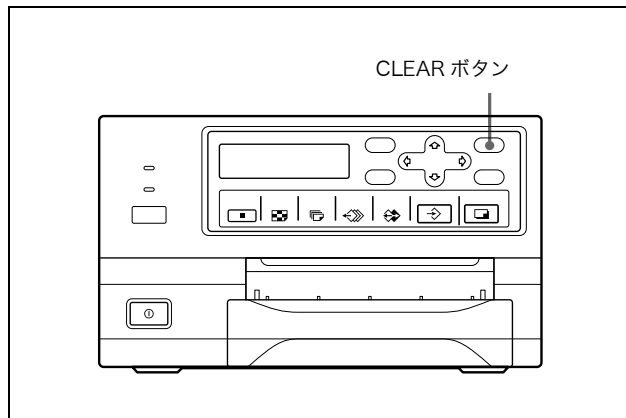
ご注意

1 度消した画像を元に戻すことはできません。

全てのメモリーページに記憶されている画像を消すには

確認

CLEAR ボタンの機能を、FUNCTION SETUP メニューの「CLEAR」を「ALL」に設定します。



CLEAR ボタンを押します。
プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。

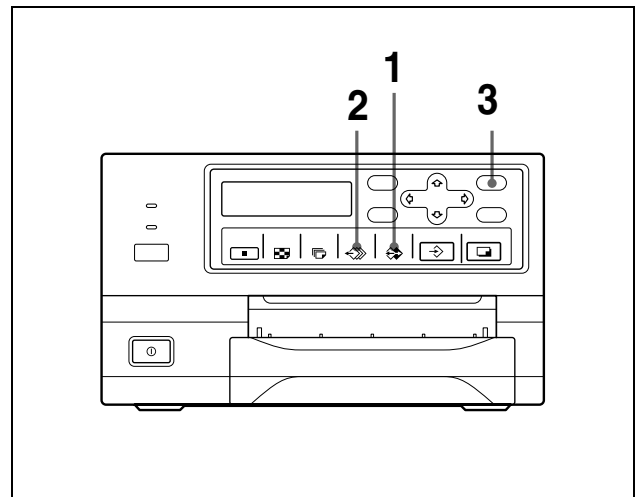
ご注意

- ・ モニター画面に入力画が表示された状態で CLEAR ボタンを押してもメモリーの画像は消えず、メモリー画に切り換わります。この状態でもう一度 CLEAR ボタンを押します。プリンターに記憶されているすべての画像が消去されます。
- ・ プリント中、およびプリント予約されているメモリーページの画像は消去されません。

あるメモリーページの画像だけを消すには

確認

CLEAR ボタンの機能を、「FUNCTION SETUP」メニューの「CLEAR」を「PAGE」に設定します。



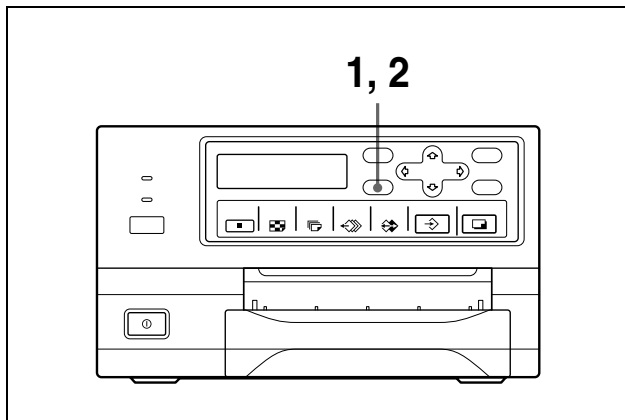
- 1** モニター画面にビデオ機器など（入力源）からの画像が出ている場合は、SOURCE/MEMORY ボタンを押す。
モニター画面はメモリーに記憶されている画像に切り換わります。
- 2** MEMORY PAGE ボタンを押して、消去したいメモリーページを選ぶ。
- 3** CLEAR ボタンを押す。
手順 2 で選んだメモリーページに記憶されている画像が消えます。

モニター画面の管面表示を消す

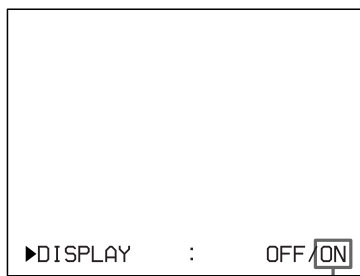
モニター画面に表示されている文字（Q1、A など）やインクリボンの種類やインクリボンの残量などの表示を消すことができます。

ここでは、管面表示の文字（Q1、A など）の下に確認したい画像が隠れてしまっているときなどに、この画面の文字の消しかたについて説明します。表示が消えた状態でも操作のしかたは変わりません。このような場合、プリンター本体の液晶ディスプレイで確認しながら操作してください。

インクリボンの種類やインクリボンの残量などの表示については、「インクリボンの種類および残量を表示させる」（55 ページ）をご覧ください。



- 1 DISPLAY ボタンを押す。
現在の設定の画面が現れます。数秒後に通常画面に戻ります。



現在選ばれている設定が緑色に点灯している。

- 2 OFF を選ぶ。
手順 1 で表示されている内容が消えないうちに DISPLAY ボタンを押して、OFF を緑色に点灯させます。液晶ディスプレイでは、OFF を大文字で表示させます。
DISPLAY ボタンを押すごとに、ON→OFF→ON と切り換わります。



OFF を緑色に点灯させる。

管面表示をだすには

DISPLAY ボタンを押して、ON を表示させます。

メニュー画面で管面表示の設定をするには

OUTPUT SETUP メニューの「DISPLAY」の項目で ON/OFF を切り換えることができます。DISPLAY ボタンとメニューの設定は連動して切り換わります。

メニュー画面を消したい場合は

DISPLAY ボタンを押し続けている間は、DISPLAY の設定に関係なく一時的にメニュー表示を消すことができます。

ご注意

エラーメッセージは、管面表示の設定に関わらず常に表示されます。

メニュー画面上で設定できる項目

メニュー画面上で、プリンターの仕様を決める各種調整や設定ができます。1度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。

また、設定した値を、接続する機器や、個人の好みに合わせてあらかじめ「ユーザー設定1、2、3」と3種類まで記憶させることができます。

それぞれのメニュー画面上で設定できる項目は以下の通りです。

メニュー画面	設定できる項目	参照ページ
COLOR ADJUST	プリント画の色（色調、階調）の調整	47
LAYOUT SETUP	メモリーモードを決める	29
	プリント画の画面の種類の設定	31
	分割画面に白枠を付けるか付けないかの設定	34
WINDOW SETUP	プリント画に黒い枠や線が出た場合にプリントする画像の範囲の調整	49
CAPTION	キャプションを入力する	35
PRINTER SETUP	プリント画の枚数の設定	26
	プリント画のトーンの設定	49
	プリントスピードの選択	24
	メモリー画がぶれているかどうかの確認	33
COLOR BALANCE	カラーバランスの調整	51
SYSTEM SETUP	液晶ディスプレイのコントラストの調整 ^{a)}	55
	本機とコンピューター間の通信速度	55
	操作音とアラーム音が鳴るか鳴らないかの設定	55
	プリント画のみのコントラストの調整	46
	ユーザー設定の選択	56
USER NAME	ユーザー名の編集	56

メニュー画面	設定できる項目	参照ページ
FUNCTION SETUP	メモリーに記憶したあとに表示される画面を、数秒後に入力画にするかそのままメモリー画を表示しておくかの選択	31
	REMOTE 2 端子の信号のタイミングの選択	54
	REMOTE 2 端子へ接続されたリモコンの選択および操作方法の設定	54
	メモリーに記憶した画像の消去の方法	38
INPUT SETUP	入力信号の選択	21
	入力映像の色調の補正	45
OUTPUT SETUP	モニター画面の管面表示の設定	40
	モニター画面とプリント画の色調合わせ	46
	プリンターの出力信号の選択	46
	RGB 信号の G チャンネルに同期信号を重畳させるかどうかの選択 ^{a)}	16
	リボンの残量を表示するかしないかの選択	55

a) UP-21MD/21MDS のみの項目です。

メニューの構成



通常画面 MENU ボタンを押す

各メニュー画面の参照ページについては、「メニュー画面上で設定できる項目」(41ページ)をご覧ください。

COLOR ADJUST メニュー

```
COLOR ADJUST COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
LOAD COLOR: 1/2/3 TEMP
CYN - RED : 0 .....
MAG - GRN : 0 .....
YEL - BLU : 0 .....
DARK : 0 .....
LIGHT : 0 .....
SHARPNESS : 8 .....
INTERPOL : OFF/ON
SAVE COLOR: 1/2/3 [EXEC]
Q1 A 1 S
```

WINDOW SETUP メニュー

```
WINDOW SETUP COL-S: 80
▶LAY SETUP :PRESS[>]
H START : 0 DOT(S)
V START : 0 DOT(S)
H WIDTH : 936 DOTS
V WIDTH : 472 DOTS
SAVE :PRESS[EXEC]
CANCEL :PRESS[EXEC]
Q1 A 1 S
```

LAYOUT SETUP メニュー

```
LAYOUT SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
MEMORY :FRAME/FIELD
MULTI PIX :1/2/4
SEPARATE :OFF/ON
WINDOW :PRESS[>]
CAPTION :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

CAPTION 入力画面

```
CAPTION OFF 1
-----
-----
-----
ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
0123456789+-=/%
.:;(){}<>
!/?*#$%&~|^
*** INS DEL SP OFF CLR EXIT
Q1 A 1 S
```

PRINTER SETUP メニュー

```
PRINTER SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.: 1 [1~9]
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :NORMAL/HIGH
MOTION CHK: OFF/ON
LOAD USER :1/2/3[EXEC]
SYSTEM :PRESS[>]
FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

SYSTEM SETUP メニュー

```
SYSTEM SETUP COL-S: 80
▶PRN SETUP :PRESS[>]
LCD-CNTR. : 7 .....
BAUDRATE : /24/48/9600
BEEP : OFF/ON
IRE : 100/11/12/13
SAVE USER :1/2/3 [EXEC]
USER NAME :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

INPUT SETUP メニュー

```
INPUT SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
INPUT SEL :U/SU/RGB
HUE :* * * * *
COLOR :* * * * *
GAIN : 0 .....
OFFSET : 0 .....
AGC : OFF/ON
Q1 A 1 S
```

USER NAME メニュー

```
USER NAME 1
-----
-----
-----
ABCDEFGHIJKLMN
OPQRSTUVWXYZ
0123456789+-=/%
.:;(){}<>
!/?*#$%&~|^
*** INS DEL SP EXIT
Q1 A 1 S
```

OUTPUT SETUP メニュー

```
OUTPUT SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
DISPLAY :OFF/ON
RBN REMAIN: OFF/ON
SOURCE :THRU/EE
SYNC ON G :OFF/ON
MONI C-R : 0 .....
MONI M-G : 0 .....
MONI Y-B : 0 .....
Q1 A 1 S
```

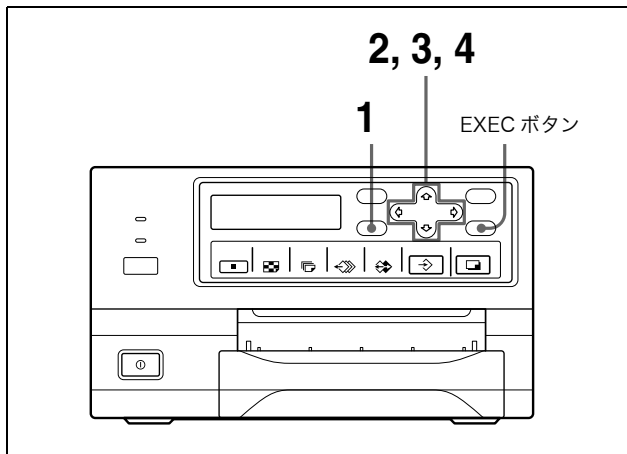
FUNCTION SETUP メニュー

```
FUNCTION SETUP COL-S: 80
▶PRN SETUP :PRESS[>]
AUTO LIVE :OFF/ON
IMMED.CAP. :OFF/ON
RM2 FUNC : / C&PRINT /
CLEAR : ALL /
Q1 A 1 S
```

COLOR BALANCE メニュー

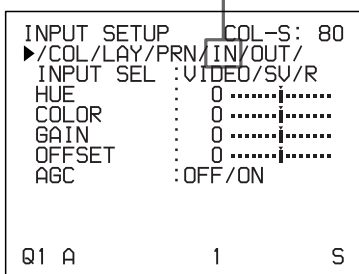
```
COLOR BALANCE COL-S: 80
▶PRN SETUP :PRESS[>]
BAL X :50[1-50-99]
BAL Y :50[1-50-99]
BAL STEP :05[1-20]
TEST PRINT :PRESSEXEC]
Q1 A 1 S
```

メニューの基本操作



1 MENU スイッチを押す。
最後に選ばれていたメニュー画面が現れます。

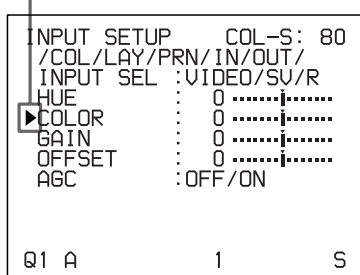
現在画面に表示されているメニュー画面は緑色に点灯している。



現在画面に表示されているメニュー画面名が大文字で表示されている。

カーソルが一番上の行にない場合：
△、▽ ボタンを押して一番上の行に移動させる。

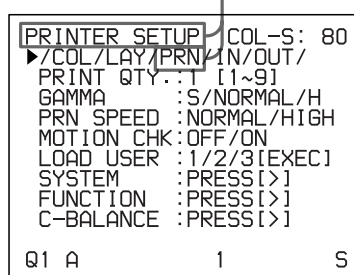
カーソルの位置が一番上の行にない。



2 △、▽ ボタンを押して希望のメニュー画面を表示させる。

例：PRINTER SETUP メニューを表示させたい場合

△、▽ ボタンで「PRN」を緑色に点灯させると、「PRINTER SETUP」が表示される。

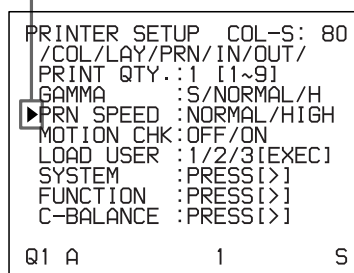


△、▽ ボタンを押して「PRN」を大文字で表示させる。「PRINTER SETUP」が表示される。

3 △、▽ ボタンを押して希望の項目を選択する。

例：PRINTER SETUP メニュー上で、PRN SPEED を選択する場合

△、▽ ボタンを押してカーソルを「PRN SPEED」に合わせる。



「PRN SPEED」が現れるまで △、▽ ボタンを押す。

4 △、▽ ボタンを押して設定する。

設定を選択する場合：

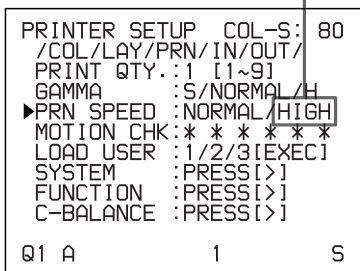
△、▽ ボタンを押して希望の選択肢を緑色に点灯させます。

ご注意

選択肢の両端か、右、または左端に「/」が表示されている場合は、画面に表示されていない選択肢があります。←、または→ボタンを押して選択肢を確認してください。

例：HIGH スピードを選択する場合

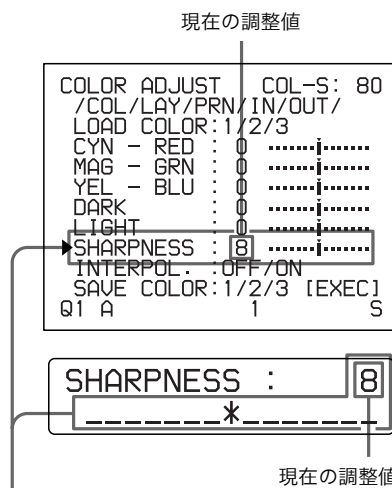
←、→ボタンを押して希望のHIGHを緑色に点灯させる。



←、→ボタンを押してHIGHを大文字で表示させる。

調整値を変更する場合：

←、→ボタンを押して調整値を変更します。



→ボタンを押すと数値は大きくなり、←ボタンを押すと数値は小さくなる。

工場出荷設定値に戻すには：

←、→ボタンを同時に押します。工場出荷設定値に戻ります。

******* が表示されている場合：**

設定の変更ができない場合に表示されます。設定変更ができないのは以下の場合です。

選択項目	設定変更できない項目（選択肢に*****が表示されている。）：
MULTI PIX (LAYOUT SETUP 画面) で「1」が選択されている。	SEPARATE (LAYOUT SETUP 画面) MOTION CHK (PRINTER SETUP 画面)
INPUT SEL (INPUT SETUP 画面) で「RGB」が選択されている。 ^{a)}	HUE (INPUT SETUP 画面) COLOR (INPUT SETUP 画面)
IMMED.CAP (FUNCTION SETUP 画面) で「ON」が選択されている。	RM2 FUNC (FUNCTION SETUP 画面)

a) UP-21MD/21MDS のみ。

サブメニューがある場合：

サブメニューがある項目は、画面に PRESS [>] が表示されます。⏏、⏏ ボタンで項目を選び、⏏ ボタンを押してください。

例：PRINTER SETUP メニューの場合

SYSTEM SETUP メニューを表示させるには ⏏、⏏ ボタンで「SYSTEM」を選び、⏏ ボタンを押します。

SYSTEM SETUP メニューが表示されます。

⏏、⏏ ボタンを押してカーソルを「SYSTEM」に合わせ、⏏ ボタンを押す。

```
PRINTER SETUP COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.:1 [1~9]
INTERVAL :OFF/ON
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :NORMAL/HIGH
MOTION_CHK:OFF/ON
LOAD USER :1/2/3[EXEC]
▶SYSTEM :PRESS[>]
FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]
Q1 A 1 S
```

```
SYSTEM :
PRESS[>]
```

「SYSTEM」が表示されるまで、⏏、⏏ ボタンを押し、⏏ ボタンを押す。

サブメニューから出るには：

メニューを選び、⏏ ボタンを押します。

色調・画質を調整する

入力映像の色調を補正する

撮影時の条件が悪く、肌色が青くなってしまうような場合、また入力信号のレベルが不適正なため画面が黒っぽくなってしまうような場合、入力映像のビデオ信号を補正できます。また、コントラストなども補正できます。

ご注意

すでにメモリーに記憶してある画像を補正してもプリント画には影響しません。補正した後に画像を記憶してください。

確認

モニター画面にメモリー画像が出ているときは、SOURCE/MEMORY ボタンを押します。

入力源の画像が現れます。

入力映像の色調の補正に使用する項目

```
INPUT SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
INPUT SEL :VIDEO/SU/R
HUE : 0 .....|.....
COLOR : 0 .....|.....
GAIN : 0 .....|.....
OFFSET : 0 .....|.....
AGC : OFF/ON
Q1 A 1 S
```

色の濃さ、色合い、コントラストを調整したいとき

調整したい内容	調整する項目	押すボタンとその結果	
		⏏ ボタン	⏏ ボタン
色合い	HUE ^{a)}	紫がかる。	緑がかる。
色の濃さ	COLOR ^{a)、b)}	薄くなる。	濃くなる。
コントラスト	GAIN ^{c)}	コントラストが弱くなる。	コントラストが強くなる。
明るさ	OFFSET	暗くなる。	明るくなる。

a) 肌色が調整の目安になります。また、COLOR (色の濃さ)、HUE (色合い) の調整は、VIDEO IN 端子 (NTSC コンポジット信号) および S-VIDEO IN 端子に接続した機器からの信号 (Y/C 分離信号) に限ります。

b) 押し続けて -14 の位置にくと OFF と表示され、白黒の画像となります。

c) 次に説明する AGC を OFF に設定して調整してください。

プリント画やモニター画面が全体に白っぽくなったり、黒っぽくなるのを調整したいとき

不適性なレベルの入力信号を、適切な信号レベルに補正します。

調整する項目	調整する位置	調整するとき
AGC (Automatic Gain Control)	ON ^{a)}	プリント画やモニター画面が全体に白っぽくなったり、黒っぽくなる時
	OFF	通常 (適正な信号が入力されているとき)

a) AGC を ON の状態で上記の GAIN を調整することにより、AGC の効き具合を調整できます。

プリント画のみのコントラストを調整するには

モニター画面のコントラストを変えずに、プリント画のコントラストを調整したい場合は、SYSTEM SETUP メニュー画面の「IRE」の項目を使って入力レベルの補正をします。

プリント画のみのコントラストの調整に使用する項目

```

SYSTEM SETUP      COL-S: 80
PRN SETUP :PRESS[>]
LCD-CNTR. : 7 .....|.....
BAUDRATE  :/24/48/9600
BEEP      :OFF/ON
▶IRE      :100/11/12/13
SAVE USER :1/2/3 [EXEC]
USER NAME :PRESS[>]

Q1 A          1          S
    
```

選択された IRE は 3 桁の表示になります。

選ぶとき	調整位置 (選ばれた IRE は、上位 2 桁の略表示から、全体表示に変わります。)
標準の設定に戻すとき	10→100
プリント画がやや白っぽいとき	11→110
プリント画が白っぽいとき	12→120
プリント画がたいへん白っぽいとき	13→130

ご注意

必要以上に調整するとプリント画が全体に暗くなります。

モニター画面とプリント画の色調を合わせる

モニター画面とプリント画の色調が違って、モニター画面上でプリント画のイメージがつかめないときは、プリント画とモニターを比べてメニュー画面上で色調を調整します。

プリンターの出力信号は、次の 2 種類があり、どちらが出力されるかはプリンターの設定によって決まります。

- EE (E to E) : プリンターの電気回路を通して信号処理されて出力される信号
- THRU (THROUGH) : 入力した信号がプリンターの電気回路を通らずにそのまま出力される信号 (スルー信号)

モニターの調整

プリンターの調整が正しくてもモニター側の調整ズレの場合もあります。プリンター側の調整を行う前にモニター側の色調を確認してください。その場合は、OUTPUT SETUP メニューの SOURCE の項目を THRU (スルー信号) に設定するか、またはプリンターの電源を切って出力信号が THRU の状態で調整すると便利です。モニターの調整が終わったら、プリンターの色を調整します。

プリンター側の調整

ご注意

この調整は、モニターのホワイトバランスの調整がずれていた場合に、プリンターで調整するためのものです。この調整は、プリント画には影響しません。プリント画の画質調整については、「色調、階調、画質を調整するには」(47 ページ)をご覧ください。

1 OUTPUT SETUP メニューを表示させる。

OUTPUT SETUP メニュー

```

OUTPUT SETUP      COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
DISPLAY          :OFF/ON
RBN REMAIN      :OFF/ON
SOURCE          :THRU/EE
SYNC ON G      :OFF/ON
MONI C-R       : 0 .....|.....
MONI M-G       : 0 .....|.....
MONI Y-B       : 0 .....|.....

Q1 A          1          S
    
```

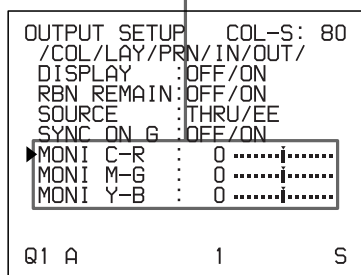
2 ◀、▶ ボタンで「SOURCE」を選ぶ。

3 ◀、▶ ボタンで「EE」を選ぶ。

- 4 MENU ボタンを押す。
通常画面が現れます。
- 5 新しく画像を記憶させて、プリント画を作る。
このプリント画とモニター画面を見ながら次の手順に従ってプリンターの色を調整します。
- 6 再度 OUTPUT SETUP メニュー画面を表示させる。
- 7 モニター画面の色調がプリント画と同じになるように調整する。

調整する項目	画面の色調	押すボタン	調整
MONI C - R	赤味がかかった画面にする。	⇒	(R : RED の略) の方向
	シアン (水色) がかかった画面にする。	⇐	(C : CYAN の略) の方向
MONI M - G	緑がかかった画面にする。	⇒	(G : GREEN の略) の方向
	マゼンタ (ピンク) がかかった画面にする。	⇐	(M : MAGENTA の略) の方向
MONI Y - B	青味がかかった画面にする。	⇒	(B : BLUE の略) の方向
	黄色味がかかった画面にする。	⇐	(Y : YELLOW の略) の方向

調整したい項目を選んで調整する。



プリント画の画質を調整する

プリント画の色調、階調、画質の調整、およびプリント画のトーン (GAMMA) を調整できます。

色調、階調、画質を調整するには

調整した内容は、LOAD COLOR 番号 1、2、3 と 3 種類登録しておくことができ、記憶した調整値を呼び出してプリントすることができます。異なるビデオ機器を接続したとき、入力信号ごとの調整値でプリントするときに便利です。

また、記憶してある調整値を一時的に調整し直してその調整値でプリントすることもできます。

色調整は、メモリーに記憶した画像をモニター画面で見ながら行います。

1 COLOR ADJUST メニューを表示させる。

COLOR ADJUST メニュー

```

COLOR ADJUST COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
LOAD COLOR: 1/2/3 TEMP
CYN - RED : 0 .....|.....
MAG - GRN : 0 .....|.....
YEL - BLU : 0 .....|.....
DARK : 0 .....|.....
LIGHT : 0 .....|.....
SHARPNESS : 8 .....|.....
INTERPOL. : OFF/ON
SAVE COLOR: 1/2/3 [EXEC]
Q1 A 1 S

```

2 調整したい、または修正したい調整値に相当する LOAD COLOR 番号を選ぶ。

修正する場合、元の調整値を残しておくこともできます。「元の調整値を残して記憶するときは」(48 ページ)

3 色調、階調、および画質を調整する。

色調 (RED/GREEN/BLUE) の調整

```

COLOR ADJUST COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
LOAD COLOR:1/2/3 TEMP
CYN - RED : 0 .....|.....
MAG - GRN : 0 .....|.....
YEL - BLU : 0 .....|.....
DARK      : 0 .....|.....
LIGHT     : 0 .....|.....
SHARPNESS: 8 .....|.....
INTERPOL. :OFF/ON
SAVE COLOR:1/2/3 [EXEC]
Q1 A      1 S
    
```

階調 (DARK/LIGHT) の調整

```

COLOR ADJUST COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
LOAD COLOR:1/2/3 TEMP
CYN - RED : 0 .....|.....
MAG - GRN : 0 .....|.....
YEL - BLU : 0 .....|.....
DARK      : 0 .....|.....
LIGHT     : 0 .....|.....
SHARPNESS: 8 .....|.....
INTERPOL. :OFF/ON
SAVE COLOR:1/2/3 [EXEC]
Q1 A      1 S
    
```

```

COLOR ADJUST COL-S: 80
/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
LOAD COLOR:1/2/3 TEMP
CYN - RED : 0 .....|.....
MAG - GRN : 0 .....|.....
YEL - BLU : 0 .....|.....
DARK      : 0 .....|.....
LIGHT     : 0 .....|.....
SHARPNESS: 8 .....|.....
INTERPOL. :OFF/ON
SAVE COLOR:1/2/3 [EXEC]
Q1 A      1 S
    
```

画質 (SHARPNESS/INTERPOL.) の調整

色調 (RED/GREEN/BLUE) の調整

15段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の0、グラフの中間が標準です。

調整する項目	画面の色調	押すボタン	調整
CYN - RED	赤味がかかった画面にする。	⇒	RED の方向
	シアン (水色) がかった画面にする。	⇐	CYN (CYAN) の方向
MAG - GRN	緑がかかった画面にする。	⇒	GRN (GREEN) の方向
	マゼンタ (ピンク) がかった画面にする。	⇐	MAG (MAGENTA) の方向

調整する項目	画面の色調	押すボタン	調整
YEL - BLU	青味がかかった画面にする。	⇒	BLU (BLUE) の方向
	黄色味がかかった画面にする。	⇐	YEL (YELLOW) の方向

階調 (DARK/LIGHT) の調整

15段階で調整できます。画面上では、数値とグラフで表示します。数値の0、グラフの中間が標準です。

調整する項目	画面の階調
DARK	画面の暗い部分を調整する。
LIGHT	画面の明るい部分を調整する。

画質 (SHARPNESS/INTERPOL.) の調整

SHARPNESS:

1 から 15 まで 15 段階調整できます。数値の 8 が標準値 (デフォルト値) です。

画質の種類	調整
輪郭をぼかす	スケールの左方向 (1 の方向)
標準	スケールの中間 (8)
輪郭を強調する	スケールの右方向 (15 の方向)

INTERPOL.:

プリントする画像によって ON、OFF のいずれかに設定します。

選ぶとき	選ぶ項目
人物画・風景画などをプリントするとき	ON
コンピューターの画像や細かな文字を含む画像をプリントするとき	OFF

ご注意

INTERPOL. の ON 時と OFF 時とでは「SHARPNESS」の効果が異なって見える場合があります。

調整値を変えると

1 つでも調整値を変えると「LOAD COLOR」の欄に「TEMP」(TEMPORARY) が表示されます。これは、この調整値が一時的 (TEMPORARY) なものであるということを示しています。「TEMP」の表示が出ている間に電源を切ると、調整値は保存されません。

4 「SAVE COLOR」の項目で、記憶する SAVE COLOR 番号を選ぶ。

元の調整値を残して記憶するときは

手順 2 で選んだ LOAD COLOR 番号と別の番号を選びます。

- 5** EXEC ボタンを押す。
 手順 4 で選んだ SAVE COLOR 番号に調整値が登録されました。
 LOAD COLOR の項目欄から「TEMP」が消えます。
- 引き続き、他の LOAD COLOR 番号の設定を行う場合は：**手順 2 ～ 5 の操作を繰り返してください。
終了する場合は：MENU ボタンを押します。
 通常画面に戻ります。

ある LOAD COLOR 番号の内容を別の LOAD COLOR 番号にコピーするには

- 1 COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、コピーしたい内容が記憶されている LOAD COLOR 番号を選ぶ。
- 2 コピーする先の SAVE COLOR 番号を選ぶ。
- 3 EXEC ボタンを押す。
 手順 1 で選んだ LOAD COLOR 番号に記憶されている設定値が手順 2 で選んだ SAVE COLOR 番号にコピーされます。

色調整（色調、階調）および画質が記憶されている LOAD COLOR 番号を呼び出すには

COLOR ADJUST メニューの「LOAD COLOR」の項目で、使用したい調整値が記憶されている LOAD COLOR 番号を緑色に点灯させます。液晶ディスプレイの場合は、LOAD COLOR 番号を表示させます。
 現在選択されている LOAD COLOR 番号の調整値が表示されます。
 設定を変えない限り選んだ LOAD COLOR 番号の調整値で画像がプリントされます。

プリント画のトーンを調整する

黒い部分または白い部分の多い入力画像をプリントするときに、黒い部分または白い部分の細部までをはっきりとプリントできるように調整します。

- 1 PRINTER SETUP メニューを表示させる。

PRINTER SETUP メニュー

```

PRINTER SETUP COL-S: 80
▶/COL/LAY/PRN/IN/OUT/
PRINT QTY.:1 [1~9]
GAMMA :S/NORMAL/H
PRN SPEED :NORMAL/HIGH
MOTION CHK:OFF/ON
LOAD USER :1/2/3[EXEC]
SYSTEM :PRESS[>]
FUNCTION :PRESS[>]
C-BALANCE :PRESS[>]

Q1 A 1 S
  
```

- 2 「GAMMA」を選び、希望のトーンを選ぶ。

選ぶとき	設定（選ばれたトーン）は略表示から全体表示になります。
白い部分の多い入力画像をプリントするとき（軟調）	S → SOFT
普通	N → NORMAL
黒い部分の多い入力画像をプリントするとき（硬調）	H → HARD

プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する

通常画面より狭い画像や、広い画像をプリントすると、プリント画面に黒い枠が出たり、反対に画面が欠けたりすることがあります。
 また、モニターテレビ上では見えないのに、プリントするとプリント画に黒い線が入っている場合があります。これは接続した機器を変えたり、再生しているソフトなどを変えたりすることによって映像信号がない部分がメモリーに記憶されるために起こります。
 このような場合は、画面の位置とサイズを調整してください。

ご注意

この調整は入力信号に対して行います。メモリーに取り込んだ画像に対しては調整できません。

- 1 LAYOUT SETUP メニューから WINDOW SETUP 画面を表示させる。

ご注意

LAYOUT SETUP メニューから WINDOW SETUP 画面に進むと、メモリーに記憶されていた画像は、

カラーバランスを調整する

モニター画面の色合いとプリント画の色合いを一致させたい場合、本機能でプリント画の色合いの調整を行います。モニター画面には、調整結果の色合いの変化は現れません。

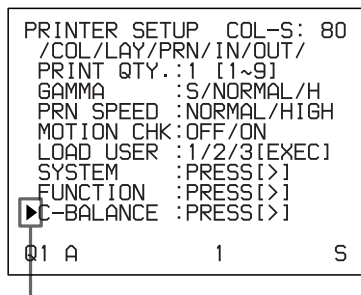
また、新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときに、カラーバランスの調整を行うことをおすすめします。ペアごとの色合いのばらつきを補正できます。

1度調整し、記憶させると、電源を切っても次に記憶し直すまで同じ設定でプリンターは調整され、機能します。

カラーバランスの調整を行う前に

COLOR ADJUST メニューの設定値をすべてセンターの値に設定してください。

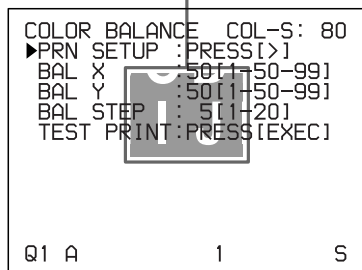
- 1 PRINTER SETUPメニューからCOLOR BALANCE調整画面を表示させる。



「C-BALANCE」を選び \rightarrow ボタンを押す。

COLOR BALANCE画面が表示されます。この画面上でハイライトされている部分がカラーバランス調整用にプリントされる範囲です。この範囲は移動することができます。

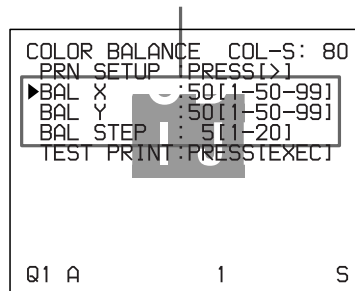
取り込まれる範囲
(ハイライトされている：画面全体の1/9位)



初めて調整する場合は、BAL X/BAL Y/BAL STEPの値は、工場出荷時の50/50/05に設定されています。

カラーバランスの調整をすでに行っている場合は、前回の調整値が表示されています。

現在のカラーバランスのX軸、Y軸およびBALANCE STEP（各カラーバランス間の変化範囲）の設定値（例は、工場出荷時の値）

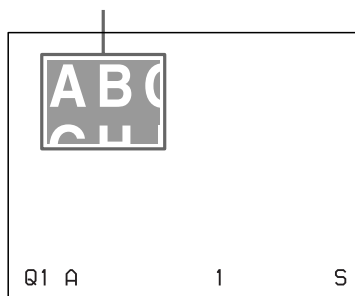


工場出荷時の設定値に戻したい場合は (50/50/05)

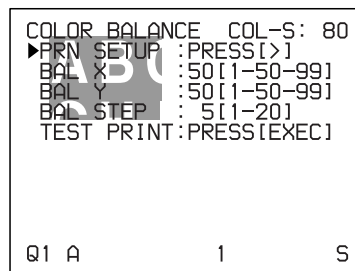
各項目ごとに、カーソルを合わせ、 \leftarrow 、 \rightarrow ボタンを同時に押します。

- 2 カラーバランス調整用に使用する画像の位置を決める。
DISPLAY ボタンを押しながら、 \leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを押して、カラーバランス調整用に使用したい範囲を決めます。

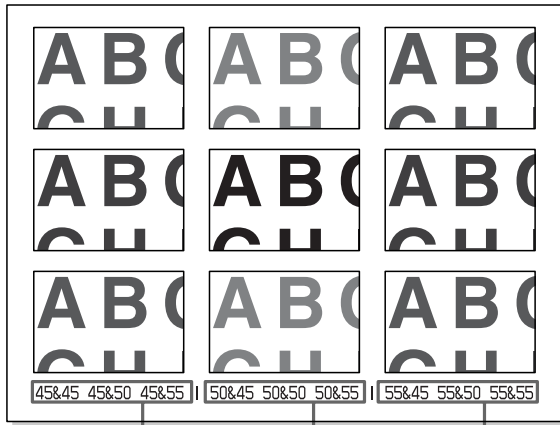
DISPLAY ボタンを押しながら、 \leftarrow 、 \rightarrow 、 \uparrow 、 \downarrow ボタンを使って、希望の位置を表示させる。
(一時的に COLOR BALANCE 調整画面が消える。)



- 3 CAPTURE ボタンを押す。
メモリー画の画像がモニター画面に現れます。



- 4 「TEST PRINT」を選び、EXEC ボタンを押す。
手順2で選んだ範囲の画像が9つプリントされます。
1つ1つのカラーバランスが異なります。

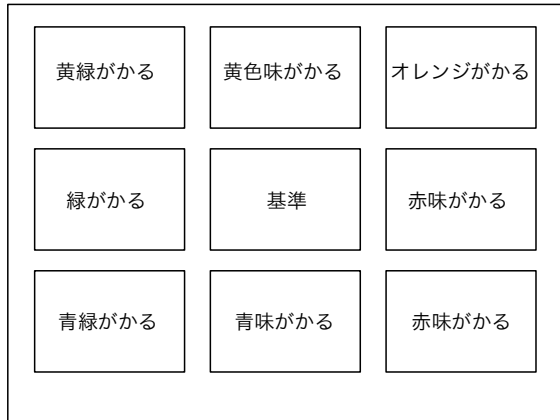


左の列の画面のカラー
バランスを表示
上から、45&45
45&50 45&55

中央の列の画面のカラー
バランスを表示
上から、50&45
50&50 50&55

右の列の画面のカラー
バランスを表示
上から、55&45
55&50 55&55

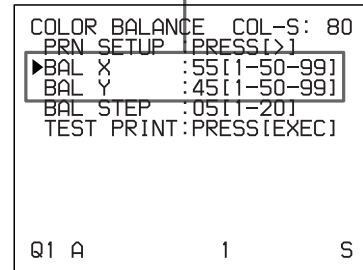
テストプリント画における色の変化は次のようになります。



- 5 プリント結果を見ながらカラーバランスが最適と思われるものを選ぶ。
プリント画を見てカラーバランスを調整し直したい場合は、「カラーバランスを調整し直すには」(52ページ)をご覧ください。
- 6 手順5で選んだ位置に該当するBAL XおよびBAL Yの値を ←、→ ボタンで表示させる。

例：下の段の左の画面のカラーバランス 55 & 45 が最適の場合

←、→ ボタンを使って BAL X に 55、BAL Y に 45 を表示させる。



プリント画のカラーバランスが、手順5で選んだものに補正されます。

カラーバランスを調整し直すには

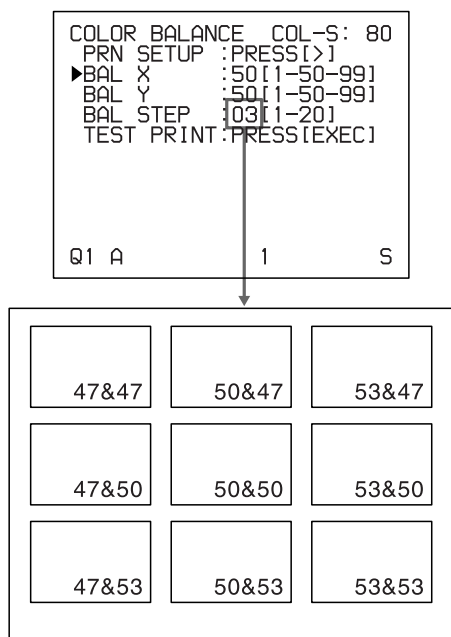
「カラーバランスを調整する」の手順5で適切なカラーバランスが得られなかった場合は、調整し直します。また微調整も同様の操作で行います。

- 1 プリント画の中でも適切と思えるBAL XおよびBAL Yの値を ←、→ ボタンを使って表示させる。
このとき、BAL STEPの値を変更すればさらに微調整、または粗調整を行うことができます。

微調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲内で微調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より小さくします。

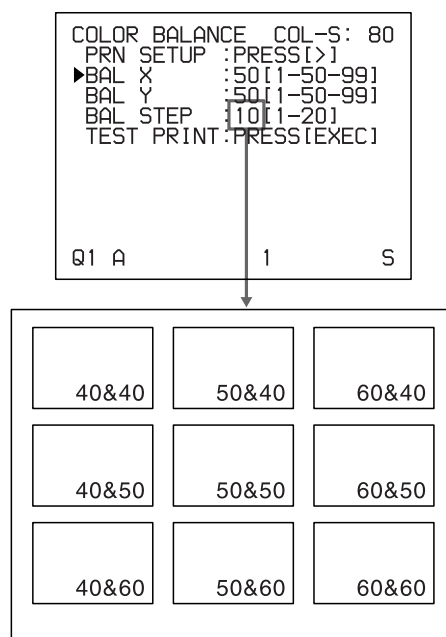
05 から 03 に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



粗調整を行うには

現在のカラーバランスの範囲外で調整したい場合は、BAL STEP を現在の値より大きくします。

05 から 10 に変更すると、テストプリントのカラーバランスは以下のように変わります。



ご注意

実際のプリント画には、カラーバランスの値はプリントされません。上図は、上の COLOR BALANCE 調整画面の設定を変えた場合の、各画像のカラーバランスを示したものです。

- 2 「カラーバランスを調整する」の手順 2、3、4 を繰り返してプリント画を作る。
- 3 プリント画の中に最適と思われるものを選ぶ。最適なものがない場合は上記手順 1 ～ 2 を繰り返して最適なカラーバランス値を得ます。
- 4 「カラーバランスを調整する」の手順 6 に戻る。

各種設定をする

別売りのリモコンでの操作を選ぶ

プリンター裏面の REMOTE 2 ヘリモートコントロールユニット RM-91 (別売り) をつないでプリンターをリモートコントロールできます。

FUNCTION SETUP 画面を使って、REMOTE 2 端子に接続したリモコンに、操作を割り当てることができます。上記のほかに REMOTE 2 端子へパルス信号 (「主な仕様」 (60 ページ)) を送ってプリンターをリモートコントロールすることもできます。

また、RS-232C コネクタにコンピューターを接続して本機をリモートコントロールできます。

1 PRINTER SETUP メニューから FUNCTION SETUP 画面を表示させる。

```
FUNCTION SETUP COL-S: 80
▶PRN SETUP :PRESS[>]
  AUTO LIVE :OFF/ON
  IMMED.CAP. :OFF/ON
  RM2 FUNC  :/ C&PRINT /
  CLEAR     : ALL      /

Q1 A          1          S
```

2 「IMMED. CAP」で、REMOTE 2 端子へ信号を取り込むタイミングを選ぶ。

取り込むタイミング	選択項目
REMOTE2 端子へトリガー信号が入力された直後の画像を取り込む。 ^{a)}	ON
REMOTE2 端子への入力用タイミングパルスで取り込む。 ^{b)}	OFF

- a) ON にした場合、タイミングパルスをプリンターに送るときは、必ずモニター画面にソース画を表示させておきます。また REMOTE 2 端子の動作は、メモリー画像を取り込むだけとなります。
- b) REMOTE 2 入力用タイミングパルスについて詳しくは、61 ページをご覧ください。

ご注意

- コンピューター制御で正確なタイミングで取り込みたい場合は、ON を選んでください。
- FUNCTION SETUP 画面上でリモコンに希望の機能を設定する場合は、IMMED. CAP. を OFF に設定します。

3 「RM 2 FUNC」を選び、機能を割り当てます。

操作方法の種類	操作内容
CAPTURE	リモコンのスイッチを押すとメモリーに記憶します。プリンター本体の CAPTURE ボタンと同じ働きをします。
PRINT	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まります。プリンター本体の PRINT ボタンと同じ働きをします。
C & PRINT ^{a)} (CAPTURE & PRINT)	リモコンのスイッチを押すごとに、プリント予約されていないメモリーページに順々に記憶し、プリントします。プリント中の場合は、プリント予約を行い現在進行しているプリント動作の終了後プリントを開始します。
CYCLIC-C ^{b)} (CYCLIC CAPTURE)	リモコンのスイッチを押すごとに内蔵しているプリント予約されていないメモリーページに順々に記憶していきます。メモリーを一巡すると新しく記憶し直していきます。前の画像が消えてしまうのでご注意ください。
CAP - STOP ^{b)} (CAPTURE STOP)	リモコンのスイッチを押すごとに記憶し、すべてのメモリーページに記憶し終ると、「HIT ANY KEY.」というメッセージが現れ、記憶できなくなります。
STOP	リモコンのスイッチを押すと、現在プリント中のものをプリントした後、プリント動作を終了します。
CAP/SRC (CAPTURE/ SOURCE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。ただしメモリーページの移動は行われません。次にリモコンのスイッチを押しても現在のメモリーページに記憶されます。
CAP/S PAGE ^{b)} (CAPTURE/ SOURCE PAGE)	画面にメモリー画が表示されているときは、スイッチを押すとソース画に戻ります。画面にソース画が表示されているときは、リモコンのスイッチを押すと、ソース画をメモリーに記憶します。次のメモリーページに移動します。記憶された画像のプリントは行われません。
PRINT & PAGE	リモコンのスイッチを押すとプリント動作が始まり、次のメモリーページに移動します。メモリーページに画像が記憶されていないと、スイッチを押しても正常な動作が行われません。
SRC & CAP (SOURCE & CAPTURE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離れた瞬間の画像がメモリーに記憶されます。ただしメモリーページの移動は行われません。

操作方法の種類	操作内容
SRC & C PAGE ^{b)} (SOURCE & CAPTURE PAGE)	スイッチを押すと、ソース画が表示され、スイッチを離すと離れた瞬間の画像がメモリーに記憶され、次のメモリーページに移動します。この場合、記憶された画像のプリントは行われません。

- a) 本操作を使用するときは、モニター画面に S (ソース画) が表示されていることを確認します。S が表示されていないときは、SOURCE/MEMORY ボタンを押して、入力画が映し出されるモードに設定してください。また、分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、プリント (プリント予約) し、次のメモリーページに進みます。
- b) 分割画面を取り込んでいるときは、最後の画面を取り込んでから、次のメモリーページに進みます。

液晶ディスプレイの調整をする (UP-21MD/21MDS のみ)

液晶ディスプレイが見にくいときには、コントラストの調整をしてください。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。

```

SYSTEM SETUP   COL-S: 80
▶PRN SETUP   :PRESS[>]
LCD-CNTR.    : 7 .....|.....
BAUDRATE     :/24/48/9600
BEEP         :OFF/ON
IRE          :100/11/12/13
SAVE USER   :1/2/3 [EXEC]
USER NAME    :PRESS[>]

Q1 A          1          S

```

- 2 「LCD-CNTR」を選び、液晶ディスプレイのコントラストを調整する。

ご注意

左端の位置にすると OFF と表示され、通常画面に戻った後液晶ディスプレイの表示が出なくなります。

操作音、アラーム音を設定する

本機のボタンを操作したとき操作音 (ピット 1 回)、エラーが起きたときアラーム音 (3 回) が鳴るか鳴らないかを切り換えます。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。

- 2 「BEEP」を選び、ブザーが鳴るか鳴らないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
操作音とアラーム音を鳴らさないようにしたいとき	OFF
操作音とアラーム音を鳴らようにしたいとき	ON

本機とコンピューター間の通信速度を選ぶ

RS-232C 端子につないだコンピューターから本機をコントロールするときの、通信速度 (ボーレート) を選ぶことができます。

- 1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。
- 2 BAUDRATE を選び、希望の通信速度を選ぶ。

ボーレート (bps)	モニター画面および液晶ディスプレイの表示 (選ばれたボーレートは、上位 2 桁の略表示から、全体表示に変わります。)
1200	12 → 1200
2400	24 → 2400
4800	48 → 4800
9600	96 → 9600

インクリボンの種類および残量を表示させる

モニター画面に常時インクリボンの種類および残量を表示しておくことができます。

ご注意

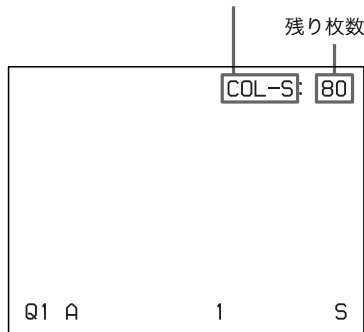
リボン残量は目安としてお使いください。使用途中のプリントバックを変えたりした場合、残り枚数が正しく表示されない場合があります。また、付属のインクリボンをご使用の場合は、正しく表示されません。

- 1 OUTPUT SETUP メニューを表示させる。
- 2 「RBN REMAIN」を選び、表示させるかさせないかを選ぶ。

選ぶとき	選ぶ項目
インクリボンの種類および残量を表示させないとき	OFF
インクリボンの種類および残量を表示させたいとき	ON

インクリボンの残量表示について

インクリボンの種類
インクリボンがないときは、「リボンカートリッジを正しくセットしてください」（液晶ディスプレイの場合は、「SET RIBBON」（UP-21MD/21MDS のみ）と表示される。）



調整値をユーザー設定として登録する

プリンターの仕様は、各種メニュー画面上で設定し、ユーザー設定として3種類まで登録しておくことができます。登録した設定は、電源を切っても変わりませんので、日常プリンターを使用するときは、ユーザー設定を選ぶことで使用する入力画像源の機器や、プリンターを使うかたの好みに合わせた設定でプリントすることができます。

また、呼び出したユーザー設定の設定値を変更した場合、プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たにユーザー設定を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。

各メニュー画面で、ユーザー設定番号に登録したい設定をすべて行った後、引き続き以下の操作を行ってください。

ご注意

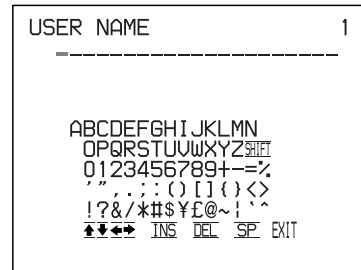
ユーザー設定を変更すると、メモリーページに記憶されている画像は、すべて消えてしまいます。

1 PRINTER SETUP メニューから SYSTEM SETUP 画面を表示させる。

保存するユーザー設定にユーザー名を付けたい場合は手順 2 へ、付けたい場合は手順 4 へ進んでください。

2 ◀、⇨ ボタンで「USER NAME」を選び、⇨ ボタンを押す。

USER NAME 入力画面が現れます。



文字の入力について詳しくは、「文字を入力する」（35 ページ）をご覧ください。

入力できる文字の数は、16 文字です。

3 ◀、⇨、◀、⇨ ボタンで「EXIT」を選び、EXEC ボタンを押す。

ユーザー名は記憶され、SYSTEM SETUP メニュー画面に戻ります。

4 「SAVE USER」を選び、希望のユーザー設定番号を選ぶ。

5 EXEC ボタンを押す。

手順 4 で選んだユーザー設定番号にすべての設定値が登録されます。また、手順 2 でユーザー名を登録するとユーザー名と一緒に登録されます。

プリンターはこの後、ユーザー設定番号を選び直さない限りこのユーザー設定値で動作します。また現在使用しているユーザー設定値を修正した場合、他のユーザー設定を選ばない限り、修正した値でプリンターは動作します。この設定は、電源を切っても保持されます。

別のユーザー設定を行うには

メニュー画面で必要な調整を行って、再度別のユーザー設定番号に登録します。

登録した内容を呼び出してプリントするには

PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」で希望のユーザー設定を選び、EXEC ボタンを押します。

プリンターは呼び出されたユーザー設定に従って動作します。

元の調整値を残して記憶するときは

例：ユーザー設定 1 の設定値を修正し、ユーザー設定 1 はそのまま残しておき、修正した設定値をユーザー設定 2 として登録します。

- 1 PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」でユーザー設定 1 を選ぶ。
- 2 EXEC ボタンを押す。
ユーザー設定 1 が確定されます。
- 3 呼び出した設定値を必要に応じて設定し直す。
- 4 SYSTEM SETUP メニュー画面の「SAVE USER」で「2」を選ぶ。
- 5 EXEC ボタンを押す。
手順 3 で修正した値がユーザー設定「2」の設定値として登録されます。

既存のユーザー設定をコピーするには

すでに設定してあるユーザー設定を他のユーザー設定番号にコピーできます。

- 1 PRINTER SETUP メニュー上の「LOAD USER」でコピーしたい設定のユーザー番号を選ぶ。
- 2 EXEC ボタンを押す。
手順 1 で選んだユーザー設定 1 が確定されます。
- 3 「SYSTEM-SETUP」メニュー画面の「SAVE USER」でコピー先のユーザー設定番号を選ぶ。
- 4 EXEC ボタンを押す。
手順 1 で選んだユーザー設定の設定値が、手順 3 で選んだユーザー設定番号にコピーされます。



本機の性能を保持するために



使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品をはずし、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品が取り付けられたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

- 1 インクリボンと給紙トレイを取りはずす。
- 2 内部の感熱ヘッドを固定する。
 - ① プリンターの電源スイッチを入れる。
 - ② カーソル移動キーの 、 ボタンおよび MENU ボタンを同時に押す。
プリンターの動作音が約 2 秒続きます。液晶ディスプレイには「TRANSPORT MODE」というメッセージが出ます。(UP-21MD/21MDSのみ)
 - ③ プリンターの動作音が止まったら、電源スイッチを切る。
感熱ヘッドが固定されます。

感熱ヘッドの固定をはずすには

再度電源を入れます。感熱ヘッドが移動し、インクリボンカートリッジを取り付けることができるようになります。

設置するときのご注意

次のような場所に設置または保管しないでください。

- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 湿気の多いところ
- ・ 極端に暑いところや寒いところ
- ・ 振動の多いところ
- ・ ほこりの多いところ
- ・ 不安定なところ
- ・ 本体の上面および左側面にある通風孔をふさがないでください。火災や故障の原因となる場合があります。

- ・ 危険防止のため、本体の上にモニターなど、物を置かないでください。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

キャビネットのクリーニング

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふき取ってください。このあと、乾いた布でからぶきしてください。

ご注意

- ・ キャビネットのクリーニングの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- ・ シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

感熱ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じるなどの印画不良が生じた場合に、付属の感熱ヘッドクリーニングカートリッジでクリーニングしてください。

プリント画の品質を維持するために、プリント紙 10 パック程度を目安に定期的にクリーニングなさることをおすすめいたします。

- 1 プリンター本体から給紙トレイを取り出す。
プリント紙が残っている場合は、プリント紙も取り出してください。
- 2 クリーニングシートの光沢面を下にして、給紙トレイに入れる。

ご注意

カラープリントパック UPC-21L/UPC-21S に付属のクリーニングシートをお使いください。一度使用したクリーニングシートは再使用しないでください。

- 3 感熱ヘッドクリーニングカートリッジをプリンターに取り付ける。

インクリボンが取り付けられている場合は、はずしてから、感熱ヘッドクリーニングカートリッジを取り付けてください。

取り付けかたはインクリボンと同じです。詳しくは、「インクリボンを取り付ける」(17 ページ)をご覧ください。

取り付けてフロントパネルを閉じるとモニター画面および液晶ディスプレイに「CLEAN HEAD:PRESS EXEC」というメッセージが表示されます。

- 4** EXEC ボタンを押す。
感熱ヘッドのクリーニングが開始されます。
クリーニング中は、「CLEAN HEAD:NOW CLEANING」と表示されます。
クリーニングが終了すると「CLEAN HEAD:FINISHED」と表示されます。

本機で使用可能なインクリボンとプリント紙

インクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

ご注意

- ・ プリント紙がなくなりましたら、プリント紙補給と同時にインクリボンも交換してください。
- ・ UP-21MDS をお使いの場合は、カラープリントパック UPC-21L はご使用になれません。

カラープリントパック UPC-21S

240 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

80 枚分のプリント用インクリボン × 3 巻

80 枚分のプリント紙 (90 × 100 mm) × 3 袋

カラープリントパック UPC-21L

200 枚分の高速／高感度用のカラーのインクリボンとプリント紙が入っています。

50 枚分のプリント用インクリボン × 4 巻

50 枚分のプリント紙 (100 × 144 mm) × 4 袋

主な仕様

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電流	約 1.8 A
動作温度	5 °C ~ 35 °C
動作湿度	20% ~ 80%
動作気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
保管/輸送時温度	-20 °C ~ 60 °C
保管/輸送時湿度	20% ~ 80%
保管/輸送時気圧	700 hPa ~ 1,060 hPa
最大外形寸法	約 212 × 125 × 395 mm (幅/高さ/奥行)
質量	約 6.5 kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
プリント画素数	UPC-21S 使用時、フル画面プリント： 1524 × 976 ドット UPC-21L 使用時、フル画面プリント： 2032 × 1452 ドット (どちらも 1016 × 488 ドットメモ リーの場合)
プリント階調	256 階調処理 (イエロー、マゼンタ、 シアン)
プリント時間	UPC-21S 使用時 PRN SPEED の HIGH 設定時： 約 16 秒 PRN SPEED の NORMAL 設定時： 約 24 秒 UPC-21L 使用時 PRN SPEED の HIGH 設定時： 約 25 秒 PRN SPEED の NORMAL 設定時： 約 40 秒
信号方式	EIA 方式準拠
入力端子	RGB SYNC (アナログ RGB 信号) (BNC 型) (UP-21MD/21MDS のみ 装備) 0.7 Vp-p、75 Ω 終端時 SYNC ON G : 入力自動判別 同期負 S-VIDEO (S 映像端子) Y : 1 Vp-p C : 0.29 V カラーバースト、75 Ω 終端時 VIDEO (BNC 型) NTSC コンポジット信号 1 Vp-p、75 Ω 終端時、同期負 AC IN (電源入力用)

制御用端子	REMOTE 1 (特殊ミニジャック) 別売りリモートコントロールユニ ット RM-5500 用端子 REMOTE 2 (ステレオミニジャック) 別売りリモートコントロールユニ ット RM-91 用端子 RS-232C (D-SUB 25 ピン) 出力 5 kΩ 負荷時 Typ 8 V 入力 5 kΩ 負荷時 High level 5 ~ 15 V Low level -5 ~ -15 V
出力端子	RGB SYNC (アナログ RGB 信号) (BNC 型) (UP-21MD/21MDS のみ 装備) RGB : 0.7 Vp-p、75 Ω 終端時 SYNC : 1 Vp-p、同期負 S-VIDEO (S 映像端子) Y : 1 Vp-p、75 Ω 終端時 C : 0.29 V、カラーバースト 75 Ω 終端時 VIDEO (BNC 型) NTSC コンポジット信号 1 Vp-p、75 Ω 終端時、同期負
付属品	お試し用カラープリントパック UP-20/21MD の場合 : UPC-21L (10 画面分) (1) UP-21MDS の場合 : UPC-21S (10 画面分) (1) 給紙トレイ (1) 感熱ヘッドクリーニングカートリッジ (1) ストッパー (1) 電源コード (1) 3 極 → 2 極変換プラグ (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) 業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリ	カラープリントパック UPC-21S 240 枚分 (80 枚 × 3) カラープリントパック UPC-21L 200 枚分 (50 枚 × 4)

REMOTE 2 端子によるリモートコントロール

REMOTE 2 端子へ次に示すパルス信号を送ると、プリンターはメニュー画面でリモコンの設定（「各種設定をする」（54 ページ））に従って動作します。

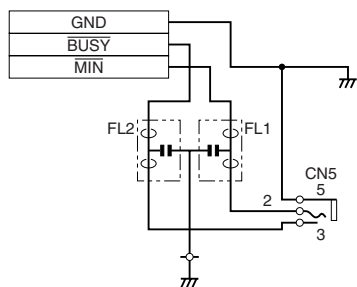
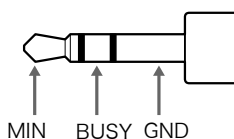
プリンターの電源を入れ、ユーザー設定を選び、画面にビデオ機器など（入力源）からの画像をモニター画面に出します。そのあとに、下図に示すタイミングでパルスを送ります。

ご注意

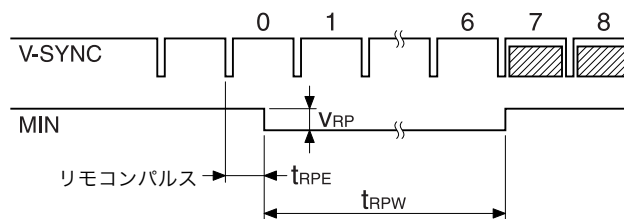
ここに記載したタイミングは、代表的な動作タイミングです。選ばれているメモリーページ、プリント画の種類により変わることがあります。

REMOTE 2 端子入力用タイミングパルス

REMOTE 2 ピン配列



IMMED.CAP が OFF の場合：



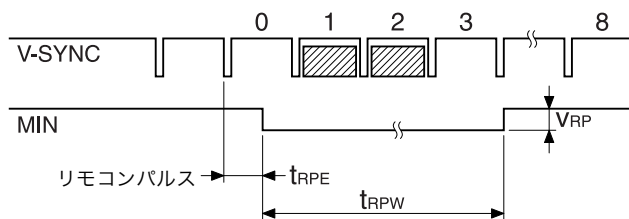
記号	項目	MIN	TYP	MAX	単位	備考
tPRAE	リモコンパルス 立下りエッジ受 付時間	3	—	12	mSEC	—
tRPW	リモコンパルス 幅	100	—	—	mSEC	—
VRP	リモコンパルス レベル	—	—	5	V	TTL レベル

上の図の例では、7 番目と 8 番目の画面を取り込んでいますが、動作モードや設定によってほかの場所の画面を取り込むことがあります。

ご注意

「FUNCTION-SETUP」メニューの「AUTO LIVE」が「OFF」の場合は、画像を記憶したあと、モニター画面にはメモリー画像が表示されたままになります。その場合は、メモリーに画像を記憶するたびに、SOURCE/MEMORY ボタンを押して、ソース画に戻してください。メモリーの画像が表示されたままでは、正確なタイミングで画面を記憶することができなくなります。

IMMED.CAP が ON の場合：



記号	項目	MIN	TYP	MAX	単位	備考
tPRAE	リモコンパルス 立下りエッジ受 付時間	3	—	10	mSEC	—
tRPW	リモコンパルス 幅	100	—	—	mSEC	—
VRP	リモコンパルス レベル	—	—	5	V	TTL レベル

ご注意

メモリー画像が表示されているときは、パルスを受信しても画像はメモリーに取り込まれません。パルスを送るときは、ソース画像を表示させてください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻醉剤の点火の危険に対する保護：

空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻醉薬混合物があるときは使用に
適していません。

作動モード：

連続

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

- ・ 型名：UP-20/21MD/21MDS
- ・ 故障の内容：できるだけ詳しく
- ・ 購入年月日

メッセージ一覧

モニター画面および液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージおよび警告メッセージは以下の通りです。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

エラーメッセージ

異常が起これると、本機前面の ALARM ランプがオレンジ色に点灯し、モニター画面および液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

下記メッセージ中の nn は、数字・記号を表します。

メッセージ		意味/対処
モニター画面	液晶ディスプレイ (UP-21MD/21MDS のみ)	
リボンカートリッジを正しくセットしてください	SET RIBBON	インクリボンが取り付けられていません。 →インクリボンを取り付けてください。(17 ページ)
プリント紙を正しくセットしてください	SET PAPER	・ プリント紙がありません。 →プリント紙を入れてください。(19 ページ) ・ 給紙トレイが取り付けられていません。 →給紙トレイを取り付けてください。(19 ページ)
リボンとプリント紙を正しくセットしてください	SET RIBBON SET PAPER	インクリボンとプリント紙が取り付けられていません。 →インクリボンを取り付け、プリント紙を入れてください。 (17、19 ページ)
トレイにたまったプリント紙を取り出してください	REMOVE PRINTS	給紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまりました。 →たまったプリント紙を取り除いてください。プリントが再開されます。
給紙トレイを取り出して紙づまりを取ってください	REMOVE PAPER TRAY	給紙トレイ付近で紙づまりがおきました。 →つまったプリント紙を取り除いてください。(66 ページ)
リボンを確認してください	CHECK RIBBON nn	・ インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(19 ページ) ・ 本機では使用できないインクリボンが取り付けられています。 →正しいインクリボンカートリッジを取り付けてください。(59 ページ)
リボンがありません リボンを取りかえてください	RIBBON END	・ インクリボンが終わりになりました。 →新しいインクリボンを取り付けてください。(17 ページ) ・ インクリボンが切れました。 →セロハンテープなどでつなげてください。(19 ページ)
リボンとプリント紙の組み合わせを確認してください	PAPER MISMATCH	インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しくありません。 →同じプリントバックに入っていた組み合わせにしてください。(59 ページ)
ドアをしめてください	CLOSE DOOR	フロントパネルが開いています。 →フロントパネルを閉じてください。
給紙を確認してください	CHECK PAPER nn LOAD	プリンター内部で紙づまりが起きました。 →つまったプリント紙を取り除いてください。(66 ページ)
排紙を確認してください	CHECK PAPER nn EJECT	

メッセージ		意味/対処
モニター画面	液晶ディスプレイ (UP-21MD/21MDSのみ)	
メカトラブル：ヘッド	MECHA TROUBLE nn HEAD	プリンターの動作に問題が起きました。 →プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
メカトラブル：PROCESS	MECHA TROUBLE nn PROCESS	
メカトラブル：センサー	MECHA TROUBLE nn SENSOR	

警告メッセージ

警告の場合は、メッセージが表示されるだけで ALARM ランプは点灯しません。
メッセージに従って処置をしてください。

メッセージ		意味・対処
モニター画面	液晶ディスプレイ (UP-21MD/21MDSのみ)	
何かキーを押してください	HIT ANY KEY	リモコンを CAPTURE STOP モードで使用しているとき出ます。現在のメモリーページから最終メモリーページまで画像を記憶して一巡し、もう記憶できません。 →いずれかのキーを押してください。次に押すキーから操作ができるようになります。
正しい信号を入力してください	INPUT MISMATCH	・ 入力画像の入力機器 (VTR、ビデオカメラなど) からの NTSC 方式以外の信号が入力されている。 →NTSC 方式の信号を入力してください。 ・ ビデオ信号以外の信号 (オーディオ信号など) が入力されている。 →正しいビデオ信号を入力して下さい。
信号を入力してください	NO INPUT	INPUT SELECT メニューで選んだ入力信号の機器からは現在信号がきていません。 →INPUT SELECT メニューで現在選ばれている入力信号を確認してください。(21 ページ) →入力機器 (VTR など) が再生されているか調べます。 →入力機器の接続が正しいか調べてください。(16 ページ)
キャプチャーしてください	NO IMAGE	画像がメモリーページに記憶されていません。 →画像を記憶してからプリントしてください。(22 ページ)
しばらくお待ちください プリント中のメモリーです	PLEASE WAIT NOW PRINTING	選んだメモリーページはプリント中、またはプリント予約されています。 →プリント終了後、操作してください。
しばらくおまちください ます	PLEASE WAIT HEAD IN COOLING	感熱ヘッドの温度が上昇しました。 →メッセージが消えるまでお待ちください。自動的にプリントを再開します。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

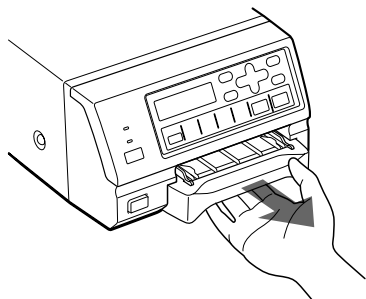
症状	原因・処置
操作ボタンを押してもモニター画面に何も現れない。	<ul style="list-style-type: none"> POWER スイッチが OFF になっています。 →POWER スイッチを ON にします。 ビデオモニターの POWER スイッチが OFF になっています。 →ビデオモニターの POWER スイッチを ON にします。 接続が正しくされていません。 →接続を確認します。(16 ページ)
通常画面で画面表示が現れない。	<ul style="list-style-type: none"> 乱れた入力信号が入力されています。 →INPUT SETUP メニュー上で、別の入力信号を選ぶ (21 ページ) か、接続しているビデオ機器を正常な再生状態にしてください。
通常画面で画像も画面表示も現れない。	<ul style="list-style-type: none"> SOURCE/MEMORY ボタンを押してメモリー画像が出たときに正常であれば、出力信号の設定が「THRU」になっています。 →OUTPUT SETUP メニューで出力信号「SOURCE」の設定を「EE」に変えます。「モニター画面とプリント画の色調を合わせる」(46 ページ) MENU ボタンを押してメニュー画面が表示される場合は、モニター画面の管面表示の設定が OFF になっています。 →DISPLAY ボタンを押して、管面表示の設定を「ON」に変えます。「モニター画面の管面表示を消す」(40 ページ)
液晶ディスプレイに表示が現れない。(UP-21MD/21MDS のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイのコントラストの調整が適切ではありません。 →SYSTEM SETUP メニューで液晶ディスプレイのコントラスト「LCD CNTR.」の調整をします。「液晶ディスプレイの調整をする (UP-21MD/21MDS のみ)」(55 ページ) 液晶ディスプレイのコントラストの調整が OFF になっています。 →SYSTEM SETUP メニューで液晶ディスプレイのコントラスト「LCD CNTR.」の調整をします。「液晶ディスプレイの調整をする (UP-21MD/21MDS のみ)」(55 ページ)

症状	原因・処置
プリントできない。	<ul style="list-style-type: none"> 画面にエラーメッセージが出ています。 →「メッセージ一覧」をご覧になって適切な対処を行ってください。「メッセージ一覧」(63 ページ) 本機で使用できないプリント紙が入っています。 →本機専用のプリント紙を入れてください。「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(59 ページ) プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(19 ページ)
プリント画に黒い線が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 映像信号のない部分もメモリーに記憶しました。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(49 ページ)
プリント画に黒い枠が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 映像信号のない部分までメモリーに記憶しました。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(49 ページ)
プリント画が欠けてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 映像信号の一部分しかメモリーに記憶できませんでした。 →プリントする画像の範囲を調整します。「プリント画に黒い枠や線が出た場合に調整する」(49 ページ)
プリント画がぶれている。	<ul style="list-style-type: none"> 動きの速い画像を記憶しました。 →LAYOUT SETUP メニュー上でメモリーモードを FIELD にしてプリントします。「メモリーモードを選ぶには」(29 ページ)
プリント画の色が薄い。	<ul style="list-style-type: none"> プリント紙の入れかたが間違っています。 →プリント紙の表、裏を確認して正しく入れ直してください。「プリント紙を入れる」(19 ページ)
インクリボンが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で使用できないインクリボンを取り付けようとしています。 →本機専用のインクリボンを取り付けてください。「本機で使用可能なインクリボンとプリント紙」(59 ページ) 感熱ヘッドが固定されています。 →プリンターの電源を入れてください。感熱ヘッドが移動し、インクリボンが取り付けられるようになります。
印刷されないで紙が排出される。	<ul style="list-style-type: none"> リボンがなくなりました。リボンを確認してください。 →リボンを交換してください。「インクリボンを取り付ける」(17 ページ) 排出された紙は使用しないでください。

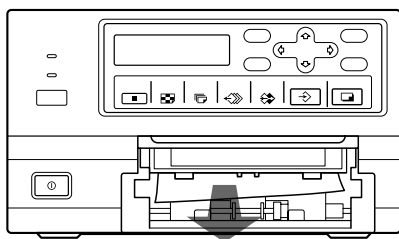
プリント紙が詰まったら

PRINT ボタンを押したあとで紙づまりが起きたときは、次のようにして詰まった紙を取り除いてください。

1 給紙トレーを取り出す。

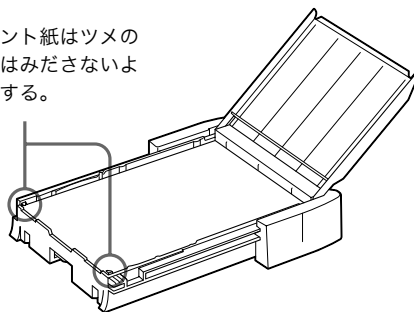


2 途中でつまっている紙を取り出す。



3 プリント紙を正しくセットする。 手順1で戻したプリント紙はご使用にならないでください。

プリント紙はツメの上にはみださないようにする。



ご注意

本機で推奨しているプリントパック以外のプリント紙を使用しないでください。

4 給紙トレーを差し込む。

それでも取り出せないときは

それでも、取り除けない場合は、次の説明にしたがって、詰まったプリント紙を取り除いてください。

⚠注意

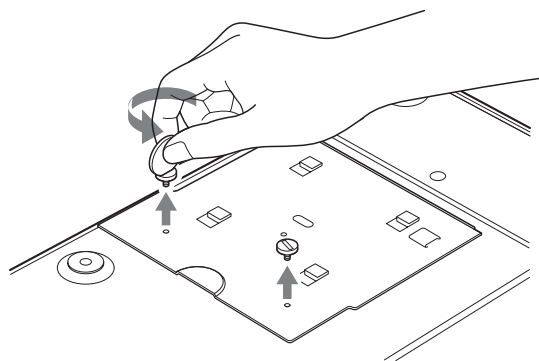
- この場合は、POWER スイッチを押して電源を切るだけでなく、コンセントから電源プラグを抜いてください。ただし、電源を切ると、メモリーに記憶させて画像は消えます。作業後に再度記憶させてお使いください。
- プリンター本体を裏返す際は、接続コード類をはずしてください。折れたり、曲がったりすることにより、火災・感電の原因になることがあります。
- プリンター内部につまっているプリント紙を取り除くため、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようご注意ください。

1 プリンターの電源を切り、電源コードを抜き、他の接続コードも抜く。

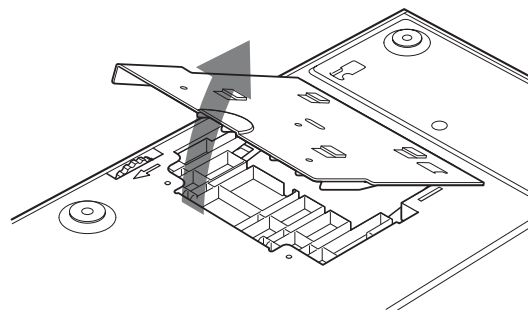
2 給紙トレーをプリンターから取り出す。

3 プリンターを裏返す。

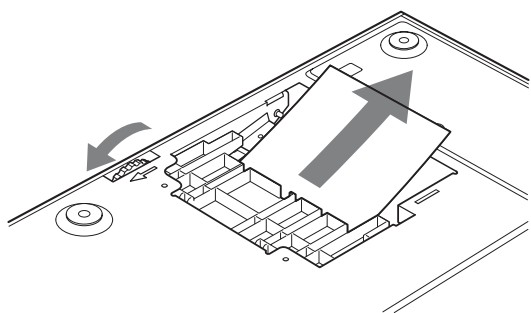
4 硬貨を使って、底板を止めているビス2本を取りはずす。



5 底板を持ち上げ、プリンターからはずす。



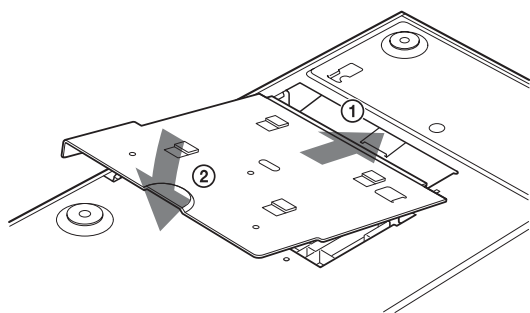
- 6 ギアを矢印の方向にゆっくり回しながら、つまった紙をゆっくりと取り出す。



どうしてもとれない場合は

無理に取り出そうとせず、ソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

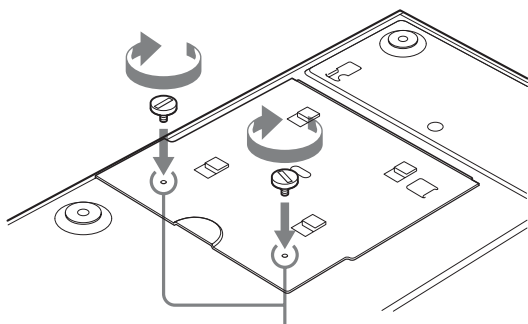
- 7 底板を元に戻す。



ご注意

戻す際に、物を挟み込まないようにご注意ください。

- 8 底板を手順4で取りはずしたビスで止める。



底板のビス穴とプリンター裏面のビス穴とが一致していることを確認してから止める。

再びご使用になるときは

ご使用になる前に、以下の項目を確認してください。

- ・ プリンター裏面のコード類の接続がきちんとされている。
- ・ 取り出した給紙トレイを元に戻す。
- ・ 電源が切れますので、メモリーに記憶させた画像は消去されます。再度画像を記憶させてプリントする。

索引

あ

安全のために 2

い

インクリボン

取り扱い上の注意 17

取り付ける 17

保存上の注意 18

途中で切れてしまったとき 19

インクリボンとプリント紙 59

え

液晶ディスプレイ表示 (UP-21MD/
21MDS のみ) のコントラストを調
整する 55

お

お手入れ

感熱ヘッドのクリーニング 58

キャビネットのクリーニング . 58

主な仕様 60

か

階調 (DARK/LIGHT.) 48

各部の名称と働き

前面 12

モニター画面 14

画質 (SHARPNESS/INTERPOL.)
48

カラーバランスの調節 51

感熱ヘッド

固定 58

固定をはずす 58

クリーニング 58

く

クリーニング

感熱ヘッド 58

キャビネット 58

こ

故障とお考えになる前に 65

この取扱説明書について 11

コンピューターとの通信速度を変更
する 55

し

色調 (RED/GREEN/BLUE) 48

シャープネスの調節 48

準備 15

使用上のご注意

結露 58

設置時 58

注意 5

輸送時 58

警告 4

白枠を付ける 34

す

ストッパー 20

せ

接続

ビデオ機器 16

モニター 16

リモコン 17

設置するときのご注意 58

そ

操作 22

と

特長 11

に

入力映像の色調を補正する 45

入力信号

選ぶ 21

調節する 45

は

はじめに 11

ふ

付属品 15

プリンターについての調整

アラーム音を鳴らすか鳴らさない
かを定める 55

液晶ディスプレイ (UP-21MD/
21MDS のみ) のコントラスト ..
55

モニター画面の管面表示を消す ...
40

リモコン (別売り) の操作を決め
る 54

プリント画

1 画面のプリント画 22

色がきれいにでないとき . 45, 47

カラーバランスの調節 51

コメントを入れる 35

種類の選択 30

白枠付き 34

トーン (ガンマ) の調節 49

分割画面のプリント画 32

保存上の注意 24

枚数の設定 25

画質の調節 47

黒い線や枠が入る 49

プリント画についての調整

色と画質と階調 47

カラーバランス 51

コントラストの調整 46

入力映像の色調 45

プリント画に黒い枠や線が出た場
合 49

プリント画のトーン 49

モニター画面とプリント画の色調
を合わせる 46

プリント紙

入れかた 19

保存上の注意 20

プリントする

1 枚に 1 画面を 22

1 枚にプリントする画像の数を
選ぶ 30

記憶した画像がぶれていたら . 22

コメントを付ける 35

白枠付きのプリント画 34

プリント画がぶれていたら 33

プリント中に別の画像を記憶する
27

ユーザー登録した内容でプリント
する 24

いろいろなプリント画を作る . 28

同じ画面を複数プリントする . 25

め

メッセージ

エラーメッセージ 63

警告メッセージ 64

メニュー

基本操作 43

CAPTION メニュー 35

COLOR ADJUST メニュー .. 47

COLOR BALANCE メニュー 51

FUNCTION SETUP メニュー
31, 38, 54

INPUT SETUP メニュー 21, 45

LAYOUT SETUP メニュー . 29,
31, 34

OUTPUT SETUP メニュー . 16,
40, 46, 55

PRINTER SETUP メニュー . 24,
25, 26, 34, 49

SYSTEM SETUP メニュー .. 46,
55

USER NAME メニュー 56

WINDOW SETUP メニュー . 49

メニュー一覧 42

メモリー

使用できるメモリーページ 30

フレームモード / メモリーモード
について 28

メモリーに記憶した画像を消す....
38
メモリーページを選ぶ..... 30
メモリーモードを選ぶ..... 29
メモリー画像
画像を記憶し直すには..... 33
記憶した画像がぶれていた場合....
33
ぶれているか確認するには..... 33

も

文字を入力する
カーソルを移動させるには..... 36
修正する..... 37
入力する..... 35
CAPTION メニュー画面..... 35
モニター画面
画面表示を消す..... 40
モニター画面一覧..... 42
モニター画面の色調整..... 46
モニター画面とプリント画の色調
を合わせる..... 46

ゆ

ユーザー設定
登録する..... 56
呼び出す..... 24

り

リモコン
ワイヤレスリモコン..... 17
RM-91 に機能を割り当てる... 54

C

CAPTION メニュー..... 35
COLOR ADJUST メニュー..... 47
COLOR BALANCE メニュー..... 51

E

EE..... 46

F

FUNCTION SETUP メニュー... 31,
38, 54

I

INPUT SETUP メニュー..... 21, 45

L

LAYOUT SETUP メニュー 29, 31,
34

O

OUTPUT SETUP メニュー 16, 40,
46, 55

P

PRINTER SETUP メニュー 24, 25,
26, 34, 49

R

RM-5500..... 17
RM-91..... 17, 54

S

SYSTEM SETUP メニュー.. 46, 55

T

THRU (THROUGH)..... 46

U

USER NAME メニュー..... 56

W

WINDOW SETUP メニュー..... 49



この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan



3206154060